

会長のページ 予報・予測	河野 雅行	3
日州医談 宮崎刑務所視察委員会とは	玉置 昇	4
はまゆう随筆(その2)		6
南嶋 洋一, 大塚 和子, 長沼弘三郎, 谷口 二郎		
大森 史彦, 石橋 俊秀, 前田 嘉子		
エコー・リレー(600)	稲原 芳生, 前田 資雄	16
宮崎グルメ探訪 tabibitoキッチン(北海道札幌市)	稲倉 琢也	17
メディアの目 長嶋さんと宮崎	村岡 経世	18
身近なお困りごと相談室	高山 桂	19
宮崎大学医学部だより 病理学講座ー構造機能病態学分野ー ..	山下 篤	26
専門分科医会だより 放射線科医会	杜若 陽祐	27
ニューメンバー	船元 太郎, 眞川 昌大	50
診療メモ アトピー性皮膚炎について	帖佐 宣昭	76
自験例を含むいわゆる「独居死」についての小考察 ..	中山 健	78
宮大医学部学生のページ 音楽祭実行委員長よりご報告	横山 美緒	80

ベストセラー	12
表彰・祝賀	14
あなたできますか?(令和6年度医師国家試験問題より)	15
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会だより	24
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	28
第182回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	30
令和7年度第82回宮崎県医師会総会	33
九州医師会連合会第421回常任委員会	36
九州ブロック日医代議員連絡会議	38
令和7年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	40
日医インターネットニュースから	42
医師協同組合だより	44
医師国保組合だより	46
会員の異動・変更報告	48
理事会日誌	52
県医の動き	56
ドクターバンク情報	57
行事予定	63
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	67
あ と が き	88

お知らせ	第26回宮崎県医師会医家芸術展	13
	県警察本部等との連携協定を締結	23
	地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について	29
	令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生採用のお願い	37
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	47
	日州医事へのご意見・ご感想	61
	第9回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	65
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	74
	医師年金ご加入のおすすめ	75
	郡市医師会への送付文書	82
	医療勤務環境改善支援センター	86
	日州医事原稿募集のお知らせ	87
ご案内	宮崎県医師会親善ゴルフ大会	32
	宮崎県医師会臨床研究倫理審査事業について	51

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：書〕

爛溪訪周公美不值 (漢詩)

夕暮れの風が葦をゆらし 月は白く輝く 谷
あいには雲が流れ

高い樹から蝉の声 水辺のかもめはのどかに
遊び 秋のように涼しい…

この書の情景にはほど遠い厳しさが増すばかりのエアコン頼みの夏です。10数年前から習い始めた書道を趣味として心静かに書けている。という日々感謝しつつ、楽しんで続けていければと思っています。

ひらの かの ほう
延岡市 平野 佳芳 (会員家族)

会長のページ

予報・予測

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

台風シーズンがやってきました。南の海上では次々に発生しています。南九州は以前より台風の通り道でした。台風対策には慣れているはずですが、それでも襲来たびに家屋被害があります。土砂災害なども発生して、人的被害も出ています。線状降水帯の予報も出されますが、相変わらず甚大な被害が出ます。対策が不十分なのか、自然現象なので諦観しているのか。もっとも、最近の台風や豪雨は規模が巨大化しているようです。

以前に比べて天気予報は、気象衛星や計測機器の発展による正確で豊富なデータの収集と、スーパーコンピューター分析により精度が向上しました。特に台風は予想進路、大きさ、勢力などは勿論、想定される被害等々まで予測されています。台風以外の災害も予報・予測ができれば医療の面でも対応が容易になります。もっとも予報・予測は確率で発表されます。

南海トラフ巨大地震が発生すれば人的被害を別にしても2,000兆円以上の途方もない復旧費用が予測されています。予報ができれば対策を強化し被害を抑えることが可能でしょう。しかし、30年以内に80%といわれてもなかなか実感は湧きません。30年のうちには私の寿命が尽きています。

野外スポーツ活動中の被雷がありました。被雷時処置もスポーツ救急医療に加える必要があるかもしれません。昔から怖いものの代名詞でもあった雷が、最近はある程度の予報・予測は可能だそうです。先日のニュースでNTTがドローンを使って被雷させる実験に成功したとありました。雷までコントロールできるとなればまさに朗報です。

冬季の北部日本では大雪被害まで予報報道されます。少しの雪でも大騒ぎする宮崎では考えられませんが、映画「八甲田山」で雪や寒さの脅威を知りました。大雪は十分な対策にも関わらず相当な被害が出て、その処理には大きな労力と費用を要するようです。交通の途絶などによる地域医療への影響も大です。

夏場の熱中症など医療と天候は関連があります。予報に従い適切運用で発症は防げるはずですが。6月から新燃岳の噴火が続いています。鹿児島県の離島では地震が続いています。将来は地震や噴火も予報が可能になってほしいものです。災害のコントロールは無理でも、せめてしっかりした予報・予測ができるだけで、大いに助かります。

現代社会では、政治、経済・株価、選挙等々あらゆる分野で予報・予測が担当部署から出されます。今を生きる私たちにとってこれらの予報・予測の利用は日常生活から切り離せません。何をするでも予測なしでは計画も立てられません。しかし、どれほど科学が発展しても自分の将来予測は知らない方が幸せかもしれません。台風シーズンを前にしての妄想です。

(令和7年7月17日)

日州医談



宮崎刑務所視察委員会とは

宮崎県医師会 常任理事 ^{たま} ^き 玉 置 ^{のぼる} 昇

はじめに

私は数年前から宮崎刑務所および宮崎少年鑑別所の視察委員を務めています。視察委員とは多くの方にとって聞き慣れない言葉だと思います。私も就任当初は初めての経験に戸惑いました。本稿では宮崎刑務所および宮崎刑務所視察委員会につき概要をご報告いたします。

宮崎刑務所の沿革と概要

宮崎刑務所は明治7年に宮崎郡大島村に宮崎懲治場として開設したのが当所の始まりであり、大正11年10月に宮崎刑務所と改称し、昭和51年6月に現在地に移転し、今日に至っています。元の刑務所跡地には、1981年に宮崎中央公園（愛称：文化の森）が開園しました。その敷地内には宮崎市中央公民館、宮崎市総合体育館、宮崎科学技術館、ニューウェルシティ宮崎（旧：宮崎厚生年金会館）もあります。

受刑者は入所中に刑務作業に従事しています。その作業には種々あり、生産作業として木工、金属加工、縫製、印刷など民間企業からの受注に応じて製品を製造します。一部の製品は宮崎矯正展で販売もされます。その他に社会貢献作業として除草や清掃など地域社会に貢献する作業や自営作業として刑務所内の炊事、洗濯、清掃などを行います。また、職業訓練として専門的な知識や技能を習得するための訓練も行われており、資格を取った後は出所後の社会生活に役立っています。

刑事施設視察委員会とは

そもそも刑事施設視察委員会とは刑務所・拘置所などの刑事施設が適切に運営されているかを、外部の有識者による第三者の視点で監督する制度です。2006年施行の「刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律（以下、「法」という）」に基づき、刑事施設視察委員会が発足しました。現在、全国73の刑事施設に設置されています。2021～22年に名古屋刑務所（愛知県みよし市）の刑務官22人が受刑者に暴行などを繰り返していた問題で、同刑務所はこのうち21～37歳の男性刑務官13人を特別公務員暴行陵虐や同致傷の容疑で名古屋地検に書類送検しました。刑務官らは、受刑者3人に対して顔を叩いたり、胸ぐらを掴んだりする暴行や、申し出を無視するといった行為を繰り返し、不適切な言動は400件超に上ったとされています。第三者委員会は「悪ふざけ」や「優越感を味わうため」という動機もあったとし、「受刑者への虐待やいじめというべき行為が常態に行われていた」と認めました。この事件を受け、法務省は視察委員会制度の強化・見直しを進めました。この制度は、受刑者を尊重し、その特性に応じた処遇の実現などを求める内容となっています。また、法務省は2024年2月15日、受刑者をはじめ、刑務所や拘置所などに収容されているすべての人を、名字に「さん」をつけて呼ぶよう運用を改めることを明らかにしました。さらに、2025年までに「懲

役・禁錮刑の廃止と拘禁刑への一本化」が予定されています。目的は、「懲らしめ」から「更生支援」へと刑罰の在り方を変えることであり、視察委員会の役割は今後さらに重みを増すと考えられています。

宮崎刑務所視察委員会の構成

宮崎刑務所視察委員会は以下の4名で構成されています。

1) 弁護士

(刑事事件に関する専門知識を活かし、被収容者の権利擁護の観点から意見を述べます)

2) 医師

(医療体制や健康管理の状況を評価し、被収容者の健康状態に関する意見を述べます)

3) 自治会長

(地域社会の一員として、施設の運営状況を監視し、被収容者の処遇に関する意見を述べます)

4) 市町村職員

(地域の実情をふまえ、施設の運営状況や地域との連携に関する意見を述べます)

委員は非常勤の国家公務員であり、守秘義務が課され、任期は1年(更新可)となっています。

委員会の活動内容

数か月に一度、委員会の会議と刑務所内の視察が実施されます。都城と延岡の各拘置支所にもそれぞれ年に1回ずつの視察が行われます。視察委員は刑事施設を定期的に視察し、施設の運営状況や被収容者の処遇について調査・評価を行います。そして、その結果を施設管理者や法務省に報告し、改善を促す役割を担います。重要な任務は被収容者との面接です。希望者の中から抽選または委員の指名により面接が可能となります。面接は原則として職員の立会いなしで行われ、秘密保持が前提となります。なお

危険が予想される場合は、職員が室外で待機する形で対応されます。被収容者は、委員会宛に意見を提出する際、舎房内の意見投函箱または通常の郵便で申し出ることができます。委員会宛の手紙は通常行われる職員の検閲なしで直接封緘される特別な扱いを受けます。意見箱の鍵は法の趣旨に照らし委員会が管理すべきとされており、多くの場合、鍵は封書で庶務に保管されます。委員会は視察や面接により、運営状況の評価と改善提言を行います(法7条2項)。そして意見は施設長に伝えられ、施設長には必要に応じて運営に反映されるように努める義務があります。提出された意見の内容は、食事・医療・生活環境・外部交通などへの不満が多く、施設運営改善に直結する可能性が高いものとなっています。

宮崎刑務所の現状と将来

宮崎刑務所は2026年3月末で廃止予定となっています。理由としては施設の老朽化と受刑者減少(2004年631人→2024年133人)が挙げられます。2026年度からは新たに宮崎拘置支所が新設されることとなります。改編にともない、宮崎拘置支所と都城拘置支所は鹿児島刑務所へ、延岡拘置支所は大分刑務所への移管が予定されています。

おわりに

刑務所内部に入るという経験は貴重なものでありました。受刑者との面談には緊張を伴います。面談した受刑者の方々の中には、細かい出来事をよく記憶されており、理路整然と説明される方が多いことに驚きました。この後、2026年3月までで宮崎刑務所視察委員会は終了しますが、残りの任期をしっかりと務めたいと思います。

はまゆう随筆 その2

(7, 8月号に分けて掲載しております)

「君の名は？」

宮崎市 古賀総合病院 みなみ 南 しま 嶋 よう 洋 いち 一

“久しぶり 笑顔は出るが 名前出ず”

第一生命が毎年行っている私の川柳（旧サラリーマン川柳）コンクールの2位入選作（朝日新聞5月30日）であるこの句は、加齢にともない記憶力・想起力が低下中の私にとって、膝を叩きたくなる川柳である。加えて、近年のコロナ禍にともなうマスク常用が顔と名前のつながりを妨げてきた。お互いに顔が見えない日が続いている。

“マスク取り「初めまして」に「あらあなた」
(我流川柳)

さて、対面した相手の名前が出てこないとき、どうするか。

世の柳人は、“喉までは出ている互いに誰だっけ”と考え、“お互いを思い出すまで立ちばなし”する（平成サラリーマン川柳傑作選⑤より）。

故 田中角栄元首相は、「君の名前は？」と訊き、相手が苗字で答えると、「それは判つとる。わしが訊いているのは下の名前だ」とやって相手の姓名を訊き出し、相手をフルネームで呼んでいたと伝わる。実は、その下の名前に、近年、少々問題がある。

卒寿の身ながら、同心会傘下のフィオーレ古賀看護専門学校で、自著の教科書を使い、著者の私自ら、微生物学の講義を担当している。そ

の際、戸惑っていることがある。答案やレポートなどに書かれた、学生の名前が読めないのである。いわゆるキラキラ名である。振り仮名付きの名簿と照合して、日本語にこんな読み方があるのか、と驚いている昨今である。

「君の名は？」といえば、“「君の名は」と尋ねし人あり…”の歌詞とともに、戦後、昭和27年に始まり、後に映画化された、彼の有名なラジオドラマが思い浮かぶ。私の令和版「君の名は？」は、“「君の名は？」と尋ねし人あり…その人の名を読めず”である。

令和の教室風景を詠んだ、我流川柳の駄句を並べてみよう。

「君の名は？」と尋ねし娘あり「何と読む？」
教室の絶滅危惧種「子が付く子」
出席簿読めぬ漢字の名が並ぶ
振った仮名こんな読み方あったのか
日本語の読み方にないキラキラ名
名前ほどキラキラしない子も居たり
親心せめて名前で目立つよう
親心他人に読めぬ名前付け
この名前欲が読めます親御さん
この名前一生書かにゃならんのか

本年、2025年5月26日、戸籍法が改正された。今後は、名前には振り仮名が付き、珍奇な名前は減り、将来「君の名は？」と訊ねる場面は少なくなるであろう。

トタン屋根の診療所

西都市 大塚病院 おお つか かず こ
大 塚 和 子

1982年（昭和57年）5月に西都市御舟町に30坪ほどの小さなトタン屋根の診療所（以下、小屋）を建てました。37歳の時でした。

ちょうどそのころ1977年（昭和52年）に開設された宮医大皮膚科学教室は井上勝平教授、菊池先生、出盛先生、緒方先生、成田先生、外山先生、税田先生がいらして、宮崎大学皮膚科学教室の基礎を築かれていらしたと記憶しております。当時の先生方の熱気を今でも感じることができます。日々の診療の中で難しい患者様を紹介すると優しく丁寧にご指導していただきました。井上教授の言葉…「先生方（私たち開業医のこと）は患者様を通して皮膚疾患についてたくさんの情報を提供していただいているので、丁寧に診察して勉強してください」…を胸に頑張ってきました。

大学の先生方と開業医の先生方が月1回集まる勉強会がありました。1～2例の症例について意見交換し充実した内容のある会でした。この会が長く続いたのは中野拓先生（俊二先生のお父様）や田崎高伸先生が架け橋となり、連携プレーで宮崎県の皮膚科診療の発展に尽力された努力の賜物と思っています。今も宮崎県皮膚科懇話会として続いています。この会から1996年に帯状疱疹の集計について話題があがり1997年から外山先生を中心にスタート。今日の帯状疱疹の宮崎スタディにつながっています。

さて、トタン屋根の小屋は主人の祖父の病院を取り壊したときの古材で建てました。屋根はトタンで赤茶色からブルーに変わり、今は淡いギンギツネ色に修理しお色直しをしました。床は歩くとブヨブヨする部分を張り替えて

きたのでパッチワークのようです。43年間私とともに歩んだトタン屋根の小屋は令和7年5月31日に閉院することになりました。このことを患者様にお話しすると…ここ（小屋のこと）はどうするのですか？どうなるのですか？と私のことより小屋が心配のようです。消えてなくなることはありませんよと言って笑ってしまいます。この小屋は皆さんから愛されているようです。お互いに若かったころの話をして帰られる患者様もいらして43年間の思い出がぎっしり詰まっているのだなあーと思いました。

6月からは大塚病院の勤務医として午前中だけ皮膚科診察をさせていただきます。

宮崎大学皮膚科の先生方、宮崎県皮膚科医会の先生方、今後ともよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。皮膚科医院時代、これまでご指導ご支援いただいた皆様方から感謝申し上げます。ありがとうございました。



“オーイ、オーイ”

延岡市長沼医院 ^{なが ぬま こうざぶろう} 長 沼 弘三郎

頃と言えば、“はまゆう随筆”の原稿書きと、“医家芸術展”向けの絵描きがかちあった。いずれも生みに躊躇したが目途がついた。

今回は火野正平「にっぽん縦断こころ旅」1,052日目の日之影編を出しに使おう。

天岩戸神社から県道204号線を岩戸川に沿って、途中“トロッコ鉄橋”を見上げ、高巣野小学校まで自転車（チャリオ）をこぎこぎ。国道218号線を三田井に折り返し、椎谷集落のゆるい坂道から五ヶ瀬川の峡谷を挟む400m先の対岸に向かって“オーイ、オーイ”と声を大にして叫ぶ。ちょうど石原集落に帰る小学生たちがいるのではないか。手を振り合い、心弾ませて何回も何回もおらぶ。

“オーイ”と言えば飲むと歌って踊って陽気だった父を思い出す。昭和20年代県庁の務め帰りに決まって安兵衛小路の飲屋“史”^{のみや ふみ}で焼酎を痛飲していた。酔っぱらって夜半高松橋（木橋）、砂利と砂煙の国道10号線を自転車をこいで帰宅。戦場坂を越すと1 km先は我が家だ。そこいらで「“オーイ、オーイ、キク、キク”（母の名）」と家まで通る声でおらんでいた。“金鷄勲章”^{きんし}の父が意気揚々と帰還。さすが明治の男だと安堵し寝入ったものだ。

あとひとつの記憶は、部落の子どもの遊び場から生目神社に向かって「オーイ、オーイ」と叫ぶと、周りの山からウォーンとはね返ってくる“山彦”に聞き耳を立てていたことだ。

話は逸れるが、延岡市長が職員に対して男性器俗語を用いて不適切な発言を行ったことが問題視された。“ぼっけなこつじゃった”と思う。しかし“言っちゃ悪いがあんげなこつ子供

頃常々言っちゃったがな”〇〇たま、〇〇ごろ諸諸。“百姓ごろ”とも口にしていた。我が田舎は方言の宝庫だったが、今は淫語も隠語。全部死語になったみたい。そんな狭い言葉狩りみたいな了見を払拭してくれる便利な言葉が“オーイ”の掛け声。“オーイ、オーイ”と口をすぼめ尾を引くように長く声を延ばすと“狼の遠吠え”。悠々追らぬ気持ちになり落ち着く。少し短く“オイ、オイ”と言えば“いらんこつ言うな”との他人への注意や勧告。^{いちがい}一概には言えないが強く言えば叱責になる。市長の場合はこれだ。普通に“オイ”なら親しみを込めた呼びかけで、友人子どもへのあいさつがわり。“オイッ”と強く短く発すれば気がみなぎり、自分のほっぺを“はちまわす”ようで気合が入る。また“オイッ”と一喝すれば身を守る効果もある。

多言を要することなく「オイ」の一言で万事事足れり。場所をわきまえて言えば他人とのあつれきもなくなりそう。“自分事”。手元供養で毎朝仏前にお供えしているが締め「オーイ、オーイ、オイ、オイ、オイッ」と唱えている。

火野正平の子どもじみた“オーイ”とおらんでいる姿がなつかしい。

その後病没された由。合掌

後期高齢者同士の飲み会

宮崎市 ^{たに}谷 ^{ぐち}口 ^じ二郎 ^{ろう}

先日同級生5人で久しぶりに飲みに行くことにした。予約した店に行くと、1階はいっぱいなので、2階に案内された。エレベーターがあるかと思いきや古い建物なので階段しかない。それもかなり急な階段であった。一歩ずつ大腿四頭筋をフルに活用して息を切らして上がると、5部屋に分かれているうちの一部屋だった。

早速注文しようと思ったら店員がやってきた。「まず生ビール」と言うと、「お客様注文はこれからお願いします」と20cm角のQRコードが書いてあるボードを手渡された。「スマホでこれを読み取りオーダーできますので」と言う。5人とも同級生。つまり立派な後期高齢者である。タブレット形式になっているようなものであれば、我々の世代でもなんとか使いこなせる。だがQRコード+スマホというのは全くやり方が分からないので顔を見合わせていると店員が「それならそこに押ボタンがありますから、注文されるときはそれを押してください。いつでも駆けつけますから…」と助け舟を出してくれた。

QRコードの説明を受けたときは『じゃもう帰ろうか』と顔を見合わせた我々もほっとした。しかしその押ボタンがどこにあるのか分からなくてまごまごしていると、メニュー表の下に隠れていた。これで一安心。早速それを押してビールを5人分注文した。やれやれこれようやく安心して飲めると全員安堵した。「僕はこれを食べたい」「私はこれ」と決めた後、押ボタンを押すと厨房でピンポーンという音がした。すぐ店員が駆けつけてくれ無事オーダーすることができた。

その後客が続々と近くの部屋に吸い込まれていった。その数4~5組である。みんな楽しそうに飲んでいる。しかしピンポーンという音は聞こえない。他のグループはスマホを使ってオーダーしているに違いない。押ボタンを押しているのは我々グループだけみたいだ。なんかちょっと恥ずかしかったが、人材不足の今の時代、オーダーを取りに行く手間が省けるというのは店側にとっては大きな利点だ。

しかし、今からはスマホでのオーダーが当たり前になることだろう。店に入り座敷に座ってスマホ以外はダメだということになれば、それができない我々世代はそそくさと帰るしかない。

押ボタンのオーダーで安心したせいか、かなり焼酎を何杯もお代わりしてほろ酔い加減になった。お勘定を済ませ2階から降りる際足元がふらつき、手すりをしっかりと握って必死で降りた。後期高齢者にとってはとても敷居の高い店だった。でも飲み放題4,500円は安い。きっとQRコードのおかげだろう。



ある歌手の死

高鍋町 おおもりふみひこ 大森史彦

2023年10月初め、ネット上を悲しいお知らせが飛び交ったのです。チェコのソプラノ歌手パトリツィア ヤネチコヴァさん（Patricia Janečková）が乳ガンのためわずか25歳でチェコのオストラヴァで亡くなったのです。その前年8月、乳ガンの闘病のためしばらく治療に専念すると自身のチャンネルで発表していました。亡くなる前々日には結婚式の様子がYouTubeにアップされていたばかりで世界中のファンが祝福とともに回復を待ち望んでいたところでした。

1998年スロヴァキア人の両親のもとドイツで生まれ、幼少期から才能を認められ多くのコンサートで歌声を披露していました。私が彼女を知ったのは、オッフエンバックのオペラ「ホフマン物語」中の名アリア、人形仕掛けのオランピアが歌う「生け垣に鳥たちが」を聞いてからです。まだ17歳のときの歌唱ですが、オーケストラをバックに難しいコロラトゥーラとコミカルな演技とを織り交ぜ、聴衆から喝采を浴びていました。その後もYouTubeにいろんな演奏がアップされ、着実に成長している姿が微笑ましいものでした。2021年5月にはチェコの大作曲家ドヴォルザークの歌劇「ルサルカ」の有名なアリア、「おお、白銀の月よ」をかなりゆっくりとしたテンポで美しく歌い上げていました。

ヤネチコヴァの歌声の魅力とは、澄み切った声で高音まで伸びやかに歌い、また、コロラトゥーラやトリルを軽々とやってのける確かな技術です。若いころからの演奏がYouTubeにアップされていますので、興味のある方はぜひ

ご覧ください。ソプラノ歌手としてもっとキャリアを積んで、世界中の歌劇場でその歌声を披露するはずだったと思います。これからと言うときに病魔に倒れ、悔しいのはもちろんご本人ですが、世界中のファンもいまだに悲しみに暮れています。亡くなったあとにはヨーロッパ中の放送局などでその死が伝えられ、追悼する動画が彼女のチャンネル上に溢れました。

乳ガンという大敵と立派に戦い、その戦いに敗れはしたけれど世界中のファンに美しい歌声を残してくれたパトリツィア ヤネチコヴァさんに心からの拍手と感謝を贈りたいと思います。そして哀悼の花束を。

早馬まつりと関之尾滝

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで 石橋俊秀

令和6年4月29日(祝)に宮崎県三股町の早馬はやま神社に出掛けた。中でも「櫟田くぬきだの馬踊り」は面白かった。馬踊りは、山におられる作神（田の神）を招くために馬を用い、馬が大地を強く踏むことで地母神の眠りを覚ませるワザ、ジャンカ馬の由来である呪具馬鈴じゆぐの音で、五穀豊穡・牛馬安穩を祈る神事芸能だそうだ。

左右の引き手が動きを誘導し、後方の一人が進行速度を調整する。大きな輪に添って、人馬一体になって踊りながら行進した（写真1）。その後方には老若男女の踊り手が付いて回った



写真1 櫛田の馬踊り



写真2 相馬まつり

(写真2)。射的、焼きそば、焼きトウモロコシや団子の店も大盛況だった。小学生のソーラン節や三股音頭もまつりに花を添えていた。

次に都城市の大淀川の支流・庄内川下流の関之尾滝とおうけつ甌穴群を見学に行った。関之尾滝は日本の滝百選にも選ばれた名瀑で、幅40m、落差18mと迫力満点だった。

令和5年度は工事のために「道の駅せきのお」周辺（関之尾滝や甌穴群を含む）は閉鎖されていたが、令和6年4月にリニューアルオープンした。経営主体は「スノーピーク都城キャンプフィールド（CF）」で、全国で11番目の施設として4月27日にカフェやレストランなどを新規開業した。駐車場のすぐそばにはおしゃれなカフェとキャンプサイトが営業していた。

関之尾滝や甌穴群の説明パネルの近くに「お雪の恋人経幸が槍の穂先で岩盤に刻んだ句」が展示されていた。お殿様に宴会時にお酌をするときに、粗相をしてしまったお雪が、思いあ

まって滝に飛び込んで自殺してしまった。その知らせを聞いた恋人の経幸が詠んだとされる句『書きおくも 形見となれや 筆のあと 又あうときもの しるしとならん』がある。

駐車場から関之尾滝を目指して歩くと、途中に女滝があった。少し下った所にある吊り橋からは関之尾滝を真正面から眺めることができた(写真3)。最近では雨が多かったためか、水量が多くて勇壮な眺めだった。通りかかった観光客に記念写真を撮影してもらった。一旦本道に戻って進むと、男滝があり、さらに進むと甌穴群が見えて来た。



写真3 関之尾滝

遊歩道を歩くと甌穴群の様子が一望できた(写真4)。レストラン、パン屋さん、コテージやプールも併設されており、キャンプ道具も豊富だった。さらに電動式のマウンテンバイクの貸出しも実施中だった。この日は小雨だったが、結構な人出で賑わっていた。



写真4 甌穴群

祖父の思い出

都城市 ^{まえ}前 ^だ田 ^{よし}嘉 ^こ子

父が67歳のころ、宮崎市の総合病院で前立腺がんと診断され、告知があった。宇崎竜童似の先生がエコー写真をみせながら、説明された。母が「お花みたいね」といった。父は青ざめた。前立腺の被膜を破っていた。職場にタクシーで戻った。事務長に説明した。翌日、自分自身のめまいを感じ、都城西駅通りの耳鼻咽喉科を受診した。4月で、花粉症の患者が多かった。いろいろ検査をされ、院長先生が丁寧に説

明された。問題はなく、ハンドルを持っていたらめまいは生じにくいこと、運転しない場合は前を見ることなど指導された。昔、院長先生が私の祖父の運転する遊覧船に乗った際、ロープがスクリューに巻き付き、祖父が素潜り、大事に至らなかった話をしてくれた。2週間服用でめまいは消失した。院長先生に感謝している。3年前には、向かいの写真館には、精神保健指定医の再認定の証明写真でお世話になった。背中が丸まっているのを直してもらい、レントゲン写真を思い出した。また、新聞広告の長渕剛さんのRebornのツアーの写真は、私に希望をくれた。

7月のベストセラー（宮崎県）

集計：2025年7月1日～7月23日

1 国宝（上・下）	吉 田 修 一	朝 日 文 庫
2 私が見た未来 完全版	たつき 諒	飛 鳥 新 社
3 天使の遺言	竜 樹 諒	文 芸 社
4 成瀬は天下を取りにいく	宮 島 未 奈	新 潮 文 庫
5 5年で1億貯める株式投資	K e n m o	ダイヤモンド社
6 近畿地方のある場所について	背 筋	KADOKAWA
7 青瓜不動	宮 部 みゆき	角 川 文 庫
8 人は話し方が9割	永 松 茂 久	す ば る 舎
9 やりたいことは全部やりなさい	森 永 卓 郎	S B 新 書
10 あなたを疲れから救う 休養学	片 野 秀 樹	東洋経済新報社

お知らせ

第26回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展が8月12日(火)より6日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は122点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月12日(火)～17日(日) 10時～18時 (最終日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：書道, 絵画, 写真

出 展 者：宮崎県医師会会員・ご家族 (高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局
(TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550)

書道部門

大迫 文子 (宮 崎)* 岡村 公子 (延 岡) 長野 晶子 (宮 崎)
山内 励 (宮 崎) 弓削 三重子 (宮 崎)*

絵画部門

Siri Araki-McGuire (延 岡)* 新木 るり (南那珂)* 安藤 宣 (西 都)*
石川 万佐子 (宮 崎) 内田 攻 (宮 崎) 上原 真大 (宮 崎)*
蛭原 功介 (南那珂) 大塚 早智 (西 諸)* 大西 敦子 (宮 崎)*
酒井 美絵子 (都 城)* 長沼 弘三郎 (延 岡) 野崎 藤子 (宮 崎)
淵脇 和男 (都 城) 松本 健吾 (宮大医) 松本 真由子 (宮大医)*

写真部門

大森 史彦 (児 湯) 木佐貫 冬星 (南那珂)* 酒井 和彦 (都 城)
酒井 桂子 (都 城)* 佐々木 究 (宮 崎) 末岡 常昌 (延 岡)
田中 宏幸 (宮 崎) 谷口 二郎 (宮 崎) 玉置 昇 (宮 崎)
原 政樹 (宮 崎) 福岡 周司 (南那珂) 松本 健吾 (宮大医)
山路 健 (都 城)

(敬称略・各部門50音順・7月17日現在)

*は会員ご家族で、カッコ内にはご家族である会員の所属郡市医師会を記載しています。

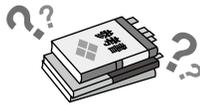
表彰・祝賀

労働基準行政関係功労者に対する厚生労働大臣感謝状

なが よし ひろ つぐ
永 吉 洋 次 先生（宮 崎）

令和7年4月18日、労働基準行政関係功労者に対する厚生労働大臣感謝状が贈られました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。





あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は41ページ)

- 尿路結石症の予防で正しいのはどれか。
 - 低カルシウム食が推奨される。
 - 予防法は結石成分によらず同じである。
 - 野菜と果実の摂取量を制限することが推奨される。
 - 食事によるナトリウム摂取量を制限する必要はない。
 - 1日尿量が2,000mL以上となるように水分摂取が推奨される。
- 急性中耳炎の症状で緊急に画像検査が必要なものはどれか。
 - 耳痛
 - 耳漏
 - 頭痛
 - 難聴
 - 発熱
- 妊婦が胎動を感じ始める妊娠週数はどれか。
 - 4
 - 12
 - 20
 - 28
 - 36
- Parkinson病の症候で、等間隔の線をまたぐ歩行訓練が有効なのはどれか。
 - 加速歩行
 - 姿勢異常
 - すくみ足
 - 突進現象
 - 静止時振戦
- 注意欠如多動性障害〈注意欠如多動症〉〈ADHD〉で正しいのはどれか。
 - こだわりが強い。
 - 知能低下を伴う。
 - 独り遊びが多い。
 - 衝動的行動を認める。
 - 多動は次第に悪化する。
- 死後に移植のために眼球を提供できる疾患はどれか。
 - 乳癌
 - 敗血症
 - 白血病
 - B型肝炎
 - Creutzfeldt-Jakob病
- ある患者の採血結果で、血清K値が7.0mEq/Lであると検査室から連絡があった。血液検査の再検に加えて、まず行うべき検査はどれか。
 - 血糖測定
 - 腹部単純CT
 - 心エコー検査
 - 12誘導心電図検査
 - 胸部エックス線撮影
- 幻覚を強く示唆する患者の発言はどれか。
 - 「(人から見られている場面で)とても緊張します」
 - 「(道を歩きながら)知らない人が私を見て笑うのです」
 - 「(通常の食事をしながら)砂を噛んでいるように感じます」
 - 「(天井のしみを見ながら)あれは私を殺そうとしているサインです」
 - 「(鳴っていない携帯電話を見せながら)今もこの電話の着信音がやまないのです」
- 68歳の女性。腰背部痛を主訴に来院した。本日、起床時に転倒し尻もちをついた後から、腰背部の痛みのため体動困難となったため受診した。40歳時から関節リウマチでメトトレキサートとグルココルチコイドを内服している。意識は清明。身長152cm、体重46kg。体温36.7℃。脈拍80/分、整。血圧144/88mmHg。呼吸数16/分。両下肢に感覚障害や運動障害を認めない。背部正中に叩打痛を認める。最も考えられる疾患はどれか。
 - 尿管結石
 - 強直性脊椎炎
 - 脊椎圧迫骨折
 - 腰部脊柱管狭窄症
 - 腰椎椎間板ヘルニア
- 26歳の女性。臨床研修1年目の医師。針刺しによる刺創で受診した。HBs抗原陽性患者の手術の助手を務めている最中に受傷した。ただちに患部を流水で洗浄した後、救急外来を受診した。これまでにB型肝炎罹患歴はなく、4年前にHBワクチンの接種歴がある。入職時のHBs抗体価は十分に高かった。適切な対応はどれか。
 - 経過観察
 - HBワクチン接種
 - 核酸アナログ製剤投与
 - 抗HBsヒト免疫グロブリン投与
 - HBワクチン接種および抗HBsヒト免疫グロブリン投与

エコー・リレー

(600回)

(南から北へ北から南へ)

今の医学科の学生は

日向市 稲原眼科医院 いな はら よし お 稲原芳生

皆さんこんにちは。私は今年55歳になります。現在、2人の子どもが医学科に在籍しています。最初の子が受験したとき、自分たちの

ころよりはるかに厳しくなっていると感じましたが、入学後もキャンパスライフは想像以上に大変でした。医療の知識や情報量が格段に増えているため、日々の小テストやレポートに追われ、部活の後も息つく間もなく勉強に励んでいます。また、私のころと大きく違うのは、デジタルデバイスが必須になっている点です。紙の教科書や参考書は膨大な量になるため、タブレットに教材を集約し、ノートもiPadなどで取るのが一般的。レポートも講義当日の夜までにWeb提出が求められます。入学式でも、学生代表が「ITや生成AIを使いこなせないと将来は厳しい」と述べており、私自身もクリニックへの生成AI導入を真剣に検討するきっかけとなりました。私はもともとデジタル機器が好きでしたが、子どもたちはまさにデジタルネイティブ世代。こうした環境にもすぐに順応し、これからのドクターはデジタルを駆使して診療に臨むのが当然になっていくと感じています。

[次回は、日向市の稲原 明肆先生にお願いします]

猛暑の夏の悪夢

延岡市 延岡共立病院 まえ だ より お 前田資雄

今年も夏がやってきた。猛暑で。これからの気温はどのようになるのだろうと考え、地球の過去、未来についてネットサーフィンしてみた。地球はその誕生から今日まで46億年経ち、今後も

おおよそ40億年ほどあるとのことである。桁違いの時の流れで想像できないが、一般にその感覚をつかむために地球時計というもの知られている。地球が誕生して現在までを一年に見立ててみると、人類誕生は12月31日の午後11時37分という大晦日の紅白の勝負がつくころになるという。ただし時間の感覚は漠然として比較しづらいので、ここで視覚的に感じられる距離に換算してみた。陸上競技の100m走を考えてみる。1億年を1mに見立てると、スタート地点から地球はほぼ中間点の46mを走ってきた。後方60cmほどの地点が地球に隕石が落ちてきて恐竜時代が終わった時代になる。恐竜時代が始まったのが後方2mあまりの地点。これらに比べて、なんと人類が出現したのがわずか2mm後方。西暦が始まったのが20マイクロメートルというのでこれはこれは目に見えない。そしてこれから先人類はととも1mmもたないであろうと言われている。100mのうちの1mmしか存在できなかった生物、人間。なんともはかないものである。そしてこのエコー・リレーもなくなってしまうという、真夏の怪談よりも恐ろしい悪夢である。

とは言っても、まだまだはるか先、楽しく過ごさなければ。

[次回は、都城市の小牧 文雄先生にお願いします]

宮崎グルメ探訪

No.15 (県外編)



tabibitoキッチン (北海道札幌市)

宮崎市 稲倉医院 いな くら 稲倉 たく や 琢也

先日、学会で札幌に行きました。受験で北大に振られて以来、北海道は非常に思い入れのある土地です。数か月前から短い滞在でいかにグルメを充実させるかを検討した結果、イクラやホタテはふるさと納税で堪能できること、朝食で海鮮バイキングのある宿がとれたことから、肉系に絞ることにしました。北海道でしか食べられないものということでヒグマ、エゾシカ料理の店「tabibitoキッチン」を選びました。まずはエゾシカの背ロースのステーキ、ソーセージ、ハツの燻製などをいただきました。さすが野生のエゾシカ、しっかりした赤身でコクがあ

り、いくらでも食べられそうな味でした。ヒグマですがこの店は契約しているベテランの猟師から仕入れているとのことで、この日はかなりの大物の肉のようでした。モモのステーキを食べましたが、臭みなどは全くなく、完全な赤身ですが思ったよりも柔らかく、赤ワインとの相性もバッチリでした。翌日は札幌在住の友人とジンギスカンの名店に行きましたが、ラムもマトンも非常に美味しく、東京で食べるのとは段違いの美味しさでした。皆さんも札幌に行った際はジビエに挑戦されてはいかがでしょうか？



メニュー



ヒグマの頭蓋骨



エゾシカのソーセージ



エゾシカの背ロースステーキ



クマのももステーキ



契約ハンター

メディアの目



長嶋さんと宮崎

読売新聞 宮崎支局長

むら おか つね よ
村 岡 経 世

ふるさとの北海道で暮らす父は、熱烈な「長嶋ファン」だ。1945年生まれ。読売巨人軍の長嶋茂雄終身名誉監督の選手時代の活躍に力をもって高度成長期を生きた。今でも、引退スピーチの映像を見るたびに涙ぐむほどの入れ込みようで、6月3日の訃報についての思いは聞けないままである。

巨人が長年、宮崎キャンプを続けている縁で、宮崎県内には長嶋さんに特別の思いを持つ人が多い。同日はそういった方々の声を集めた。「ファンにいつも手を振っていた」「裏方にも笑顔で気さくに声をかけてくれた」—。人なつこく、太陽のように明るい人柄があらためて浮かんできた。

宮崎以外の翌4日付読売新聞の地方面にも、長嶋さんにゆかりのある人たちのエピソードが並んだ。北海道面には、我が子を亡くした男性が、長嶋さんに「がんばってくださいね」と声をかけられて立ち直った話が載った。東京都面には長嶋さんの自宅がある地域を管轄する田園調布署の元署長が、署員や地元住民と長嶋さんの交流について語っていた。

宮崎県民と長嶋さんをつないだ巨人の宮崎キャンプが始まったのは1959年。その後、さまざまなスポーツチームが宮崎で合宿を行うようになっていった。現在、1～3月のスポーツ

キャンプや合宿の経済効果は県全体で約100億円に達し、地域に欠かせない存在になっている。

宮崎大医学部は長年、プロ野球やサッカーのチームなどのキャンプ、合宿を支えてきた。近年は2027年に県内で開催予定の国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会に向け、医療の面から地域のスポーツを包括的に支える体制作りを進めた。

今年4月には同学部内に医療、行政、競技団体などスポーツに関わる機関をとりまとめる拠点施設「スポーツメディカルセンター」が発足。これまで蓄積されてきた知見を生かし、関係団体と協力して県内のスポーツを多面的に支えていく方針だ。

田島卓也センター長は自らも長年ラグビーに親しんできたスポーツマン。トップアスリートを支援する体制の強化も重視しており、「(アスリート側からの)依頼は基本的に断らない。安心して宮崎に来てほしい」と語る。

読売新聞宮崎支局には、長嶋さんの自筆の書が飾られている。「宮崎県の皆様。強い巨人軍を作るため、全力で取組めます」などと書かれている。スポーツを通じて宮崎が活気づくことは、長嶋さんの願いでもあると思う。そのことを忘れず、アスリートの活躍や、スポーツを支える人たちの営みを伝えていきたい。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第48回 看護師に対する貸与金について



Q.

当院では看護学校に入学する職員に対して一定額の奨学金を貸与する代わりに、資格取得後は3年間の病院勤務を行うことを条件に返済を免除する運用を行っています。このような看護師を目指す職員への奨学金制度で注意すべき点がありますか？

ご質問のような奨学金制度（いわゆるお礼奉公）は、看護師を確保するために有益な制度ではありますが、運用にあたっては以下の法的・実務的な点に注意する必要があります。

1 「貸与金」であることの明確化

奨学金制度を運用する際には、あくまで医療機関が当該職員に対する「貸付金」として交付することを契約書でしっかりと明記することが極めて重要です。この点が不明確な場合、職員に対する「貸金」として扱われる可能性があります。この場合は返還請求ができなくなることがあります。

2 返済義務と免除条件の明確化

奨学金の返済免除条件について、契約書で明確に記載しておくことが重要です。返済義務を免除する条件（例えば3年間の勤務）や、もし条件を満たさなかった場合の返済は一括払いなのか分割払いのかなども具体的に記載する必要があります。この点、返済免除条件を「10年間の勤務」などのように長期にしてしまうと無効と判断される可能性があります。3年程度が1つの目安期間になるとお考えください。

3 貸与と返済免除の取扱い

奨学金は給与所得には含まれませんが、返済免除の規定がある場合、その免除分が給与として課税される場合があります。税理士などの専門家に相談し、制度設計時に税務的に適正かどうかを確認しておくことをお勧めします。

4 書面での説明と確認

奨学金契約書を交わす際には、契約内容をしっかりと説明し、職員が納得したうえで署名するようにしましょう。その際に、奨学金制度に参加する職員に対して、契約内容や返済免除条件を十分に説明し理解してもらうことが大切です。いざ看護師になったときに貸与金の重さを理解する方も多いため、事前説明はトラブル回避のために極めて重要です。

5 まとめ

このように、看護師を目指す職員への奨学金制度は非常に有益ですが、法的、税務的な観点から慎重に運用する必要があります。契約内容や規定が法令に基づいて適正であることを確認し、必要に応じて専門家と相談することをお勧めします。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～6月～

令和7年6月2日～令和7年6月29日（第23週～第26週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核14例（男性8例・女性6例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症5例：都城（3例），宮崎市，日向（各1例）保健所管内から報告があった。患者が3例，無症状病原体保有者が2例であった。年齢は0～4歳が2例，5～9歳，50歳代，60歳代が各1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。

4類：○デング熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代の男性で，病型はデング熱であった。主な症状として発熱，2日以上続く発熱，血小板減少，白血球減少がみられた。タイからの来日者であった。

○日本紅斑熱3例：宮崎市（2例），小林（1例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代が2例，80歳代が1例であった。性別は男性2例，女性1例であった。主な症状として発熱，頭痛，刺し口，発疹，肝機能異常等がみられた。

○レジオネラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は40歳代の男性で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，意識障害，肺炎がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，主な症状としてショック，腎不全，全身性紅斑性発疹がみられた。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱，肺炎，菌血症がみられた。

○水痘（入院例）1例：都城保健所管内から報告（検査診断例）があった。年齢は60歳代で，主な症状として発熱，発疹がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

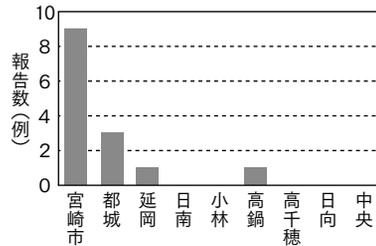


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
肺結核及びその他の結核(腸間膜, 粟粒結核)	2
その他の結核(右頸部リンパ節結核, 大腸結核, 粟粒結核)	3
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
20歳代	2
50歳代	1
60歳代	2
70歳代	3
80歳代	3
90歳代	2

表3 腸管出血性大腸菌感染症原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O103(VT1)	1
O157(VT1,VT2)	1
O157(VT2)	1
O血清群不明(VT1)	2

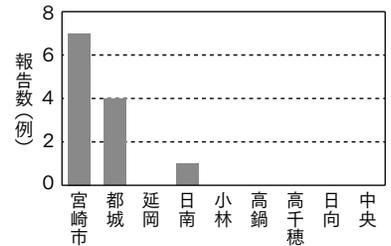


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	3
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	5

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	6
30歳代	1
40歳代	2
70歳代	2

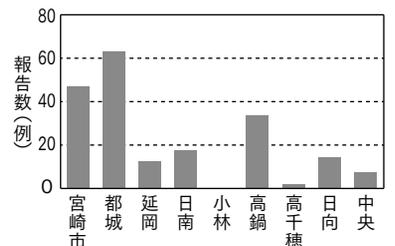


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	13
5～9歳	42
10歳代	112
20歳代	2
30歳代	6
40歳代	6
50歳代	3
60歳代	2
70歳代	2
80歳代	2

- 梅毒12例（男性4例・女性8例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹がみられた。
- 百日咳190例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタッカート，ウーブ，嘔吐，白血球数増多等がみられた。ワクチン接種歴は有りが114例，不明が69例，無しが7例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,150人（定点あたり71.8）で，前月の77%，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の66%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は5,034人（定点あたり179.8）であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，伝染性紅斑，ヘルパンギーナで，減少した主な疾患は咽頭結膜熱，感染性胃腸炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，伝染性紅斑であった。

感染性胃腸炎の報告数は457人（30.5）で前月の約0.6倍，例年の約0.9倍であった。小林（102.0），日向（71.0），日南（33.0）保健所からの報告が多く，1歳から4歳が全体の約4割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は111人（7.4）で前月の約1.6倍，例年の約4.4倍であった。中央（25.0），日向（12.0），宮崎市（11.2）保健所からの報告が多く，4歳から8歳が全体の約7割を占めた。

前月との比較

	2025年6月		2025年5月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	47	1.7	57	2.0	★
新型コロナ※1	144	5.1	76	2.7	
RSウイルス感染症	7	0.5	15	1.0	
咽頭結膜熱	41	2.7	76	5.1	
溶レン菌咽頭炎※2	190	12.7	173	11.5	
感染性胃腸炎	457	30.5	780	52.0	
水痘	25	1.7	35	2.3	
手足口病	7	0.5	17	1.1	
伝染性紅斑	111	7.4	69	4.6	★
突発性発しん	29	1.9	49	3.3	
ヘルパンギーナ	74	4.9	9	0.6	
流行性耳下腺炎	6	0.4	9	0.6	
急性出血性結膜炎	0	0.0	1	0.2	
流行性角結膜炎	5	0.8	24	4.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	6	0.9	7	1.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.1	12	1.7	
急性呼吸器感染症	5,034	179.8	7,011	250.4	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い
 ※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		2	
RSウイルス	A型	0	
	B型	1	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	7	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		9	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
パラインフルエンザウイルス3型・ライノウイルス		3	
検出せず※2		23	
受付検体数		45	

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件
細菌	EHEC (O103 : HUT, VT1)	1
	EHEC (OgGp3 : HUT, VT1)	2
ウイルス	Human herpes virus 6	1
	Adenovirus C89	1
	Norovirus GII.3 [P12]	1
	Influenza virus B (Victoria Lineage)	4
	Parainfluenza virus 3	7

■月報告対象疾患の発生動向〈2025年6月〉

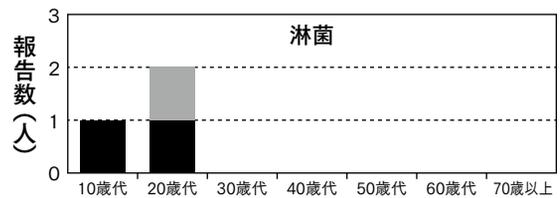
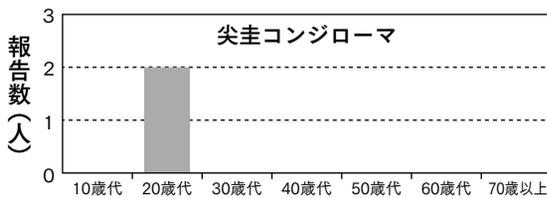
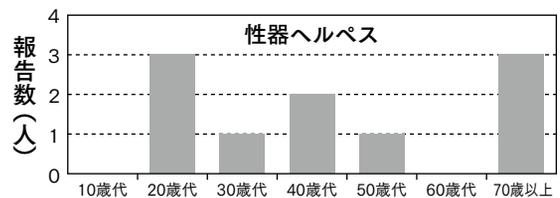
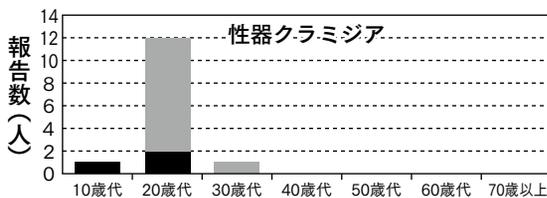
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人（2.2）で、前月比78%と減少した。また、昨年6月（3.1）の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数14人（1.1）で、前月の約0.7倍、昨年6月の約0.6倍であった。20歳代が全体の約9割を占めた。（男性3人・女性11人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人（0.77）で、前月の1.1倍、昨年6月の1.3倍であった。（女性10人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月及び昨年6月の0.5倍であった。（女性2人）
- 淋菌感染症：報告数3人（0.23）で、前月と同率、昨年6月の0.5倍であった。（男性2人・女性1人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人（1.6）で、前月比61%と減少した。また、昨年6月（3.6）の約0.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人（1.6）で、前月の約0.6倍、昨年6月の約0.4倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

お知らせ

県警察本部等との連携協定を締結

昨今発生している「医療機関等における傷害事件」や「医療機関を狙ったサイバー犯罪」の防犯対策や、実際に発生した場合の通報体制について、県警察本部と連携し協力するため、以下の協定を締結いたしました。

本協定をもとに、各医療機関において地元警察署と連携を深め、顔の見える関係を築いていただきますようお願いいたします。

「医療機関の安全に関する協定」

- ・宮崎県警察本部 本部長
- ・宮崎県医師会 会長



「宮崎県サイバーセキュリティに関する連携協定」

- ・宮崎県サイバーセキュリティ協議会 会長
- ・宮崎県警察本部生活安全部サイバー戦略局 局長
- ・宮崎県医師会 会長



各郡市医師会だより

西 諸 医 師 会

西諸地域（小林市・えびの市・高原町）も、医師の高齢化が進んでいます。会員の高齢化率は40%を超え近年は引退や閉院も続いており、新規開業も限られた状況です。また、働き方改革などで、これまでのように長時間の診療や休日当番を担うことが難しくなりつつあり、地域の医療体制は徐々に縮小しています。

特に在宅当番医と学校医などは担い手が不足しています。在宅当番医は行政からの依頼で引き受けていますが、医療機関の数が減る中、残る医療機関への負担は確実に増加しています。年間の休日数は変わらないものの、当番の回数は増え続けています。また年末年始など長期の休暇中は、患者が殺到し診療時間を大幅に過ぎることも多く、会員の負担は非常に大きくなっています。これまで多くの努力と協力で成り立ってきた当番医制も近い将来実施できなくなる可能性もあります。

一方、学校保健の現場では、特に眼科や耳鼻咽喉科の学校医が不足しており、一人の医師が複数の学校を担当せざるを得ない状況が続いています。一人で10校以上を担当していただいているケースもあります。年度初めの学校健診や就学前健診の時期には、限られた時間の中で多くの学校などを巡回する負担が増しています。

地域医療を守りたいという強い使命感で無理を承知で支えてくださっている会員の先生方には心から感謝しておりますが、このまま「使命感」だけに頼る体制は持続が困難だと思われます。医師の確保はもちろん、診療や当番を分担できる仕組み、行政も含めた支え合いが必要と考えます。

（吉村 雄樹）

宮 崎 市 郡 医 師 会

先日令和6年度の事業報告が地区委員協議会で承認されました。物価高騰、人件費、委託費、水道光熱費の増加に見合う診療報酬改定が得られず、医療を取り巻く環境は厳しい状況です。新宮崎市郡医師会病院は5年目を迎えました。前年度と比較し医業収益は増加したものの、それを上回る経費増加となり厳しい運営となりました。働き方改革や人材不足など問題は山積みですが、行政および宮崎大学医学部との連携を密にし、創意と工夫でこの難局を乗り越えていく所存です。つきましては会員の皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

（玉置 昇）

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

都城市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会の会長をしていますが、行政も含めて多職種と連携した当協議会が目指す「地域住民が住み慣れた地域で人生の最後まで安心して暮らし続けることができる」という地域包括ケアシステ

ムの構築に向けて、スキルアップ研修会やセミナーを通して取り組んでいます。昨年9月には住民を対象とした「在宅ぼんちネットフェスティバル」を開催し盛況に終わりましたが、本年も9月23日に都城市まちなか広場にて開催する予定であり、ぜひご参加いただければ幸いです。

（原田 健一）

延 岡 市 医 師 会

学術担当の山口です。医学会の開催状況についてご報告します。令和6年度は22回開催されました。徐々に増えておりますが、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した後も影響は続いているようです。本年は10月25日に延岡医学会総会を開催することになり準備を行っているところです。所属する県立延岡病院では毎年3月と9月に院内学会を行っています。本学会は平成23年より開催され本年9月で30回目となります。研修医および多くの新人メディカルスタッフのプレゼン技術向上のよい機会となっています。

（山口 哲朗）

日向市東臼杵郡医師会

当医師会では在宅サービス事業として訪問看護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業所を運用しております。以前は経常収支もよく、医師会内での赤字分野をカバーしておりましたが現在では三事業とも赤字経営で存続も危ぶまれているような状況です。他の事業所などの増加もあり全国的に在宅サービス事業の倒産を目にすることが多くなっているような感じですが、これからますます高齢化社会となり、国の方針にしても在宅サービスは必要度が増していきと考えられ医師会全体でこの苦境を乗り越えていきたいと考えております。

(吉森 建一)

児 湯 医 師 会

児湯郡は高齢化率が約35%の66,000人の医療圏です。この中に65床から200床未満の病院が4つあります（公立2，民間2）。それぞれの病院の常勤医は10名前後のみで、来院された患者さんに十分な対応ができないときは、しばしば近隣の医療圏の先生方にお世話になります。一方で、研修医の募集病院一覧を見ると児湯郡の病院は一つもありません。医師の育成も近隣の病院にお世話になっている状態です。まずは4病院の連携を密にして、長期的には活気溢れる病院群にできないかと（個人的には）考えております。

(望月 仁志)

西都市西児湯医師会

現在、全員参加対象の医師会例会は2か月に1回開催されていますが、喜ばしいことに、ここ半年ほど参加者が多くなってきています。当医師会の会員数は少ないですが、6月の総会では全会員の半数の出席があり、その後の懇談会でも多くの先生と親睦を深めることができました。鶴田病院のB会員の先生に多く参加いただけているため、鶴田病院理事長の鶴田曜三先生に理由をお聞きしたところ、自分たちから積極的に参加しているとのことでした。当医師会の行事報告や日本医師会・県医師会の報告に対し質問もいただけて、活気が生まれており、同時に「執行部もしっかり回答しなければ！」というよい緊張感もあります。医師少数地域の当医療圏において、どの医療機関がどんな疾患に対応できるかを確認できる、顔の見える関係構築は重要であり、継続できることを願います。

(大塚康二郎)

南 那 珂 医 師 会

再び串間の医療界に不幸が訪れました。開業医の突然の死亡です。悲しみに沈んでいる中、諸先輩方が苦勞されて継続しております串間在宅研究会も290回と長い歴史を守り通して、多職種の皆様の協力のもといろいろな場面で参考となるように頑張っております。これから一層厳しくなっていく医療介護の分野ですが、少しでも希望が持てるように各参加者が毎月ユニークな内容を発表して、日々さらに励んでいこうとエネルギーをいただいております。暑さが続きますが皆様頑張っていきましょう。

(山田 孝俊)

西 臼 杵 郡 医 師 会

五ヶ瀬町国民健康保険病院では、実証実験を経て6月よりオンライン診療を開始しました。当初は慢性疾患を抱えるかかりつけ患者を対象とする予定でしたが利用可能な通信手段が限られており、施設入所中の通院患者に限定してのスタートとなりました。診療は職員付添のうえでネット端末で行いますが、受付や薬の受け渡しは施設職員が電話や来院にて行うハイブリッド型です。オンライン診療は在宅医療・介護連携での重要なツールであり、今後の課題整理と対象拡大を進めていきたいと考えております。

(崔 林承)

宮崎大学医学部医師会

令和7年度も早くも4半期が過ぎました。この6月からは令和6年の診療報酬改定において、「患者の意思決定支援を行う」(ACP：人生会議)と「身体拘束の最小化」が始まりました。本院ではこれまで医療倫理の板井教授を中心にマニュアルの作成などに取り組み、大きな問題なく開始できております。今後どのような形で確認されるか、また保険指導などの監査方法については不明な点もありますが、大学病院としては粛々と進めていく方針です。今後とも大学病院をよろしく願いいたします。

(賀本 敏行)

宮崎大学医学部だより

病理学講座
— 構造機能病態学分野 —

あつし
山下 篤 教授

2022年に山下が教授に就任し3年が経過しました。

現在のスタッフは山下篤(教授), 盛口清香(病理診断科, 講師), 阿萬紫(助教), 前川和也(病理診断科 助教), 魏峻洸(助教), 中村恵理子(病理診断科 医員), 内田暁子(大学院, 循環器内科), 宇田津奈保子(技術専門職員), 大橋京子(技術補佐員), 黒岩靖淳(研究員), 大栗伸之(研究員), 解凱堯(学部5年生, 研究者育成コース), 吉武絢乃(学部2年生, 研究者育成コース)で, 病理学講座・腫瘍形態病態学分野(佐藤勇一郎教授), 附属病院の病理診断科・病理部(盛口清香部長)と協力しながら診療, 教育, 研究を行っております。なお林透, 浅田祐士朗, 丸塚浩助, 畠山金太, 木佐貫篤, 鮫島直樹, 大栗伸之はそれぞれさがら宮崎病院, 宮崎市郡医師会病院, 県立宮崎病院, 国立循環器病研究センター, 県立日南病院, 日本健康倶楽部鹿児島支部, 県立宮崎病院に勤務しております。

病理業務の基本に変わりありませんが, ゲノム診断(遺伝子パネル検査)が臨床導入され, 大きな変遷期を迎えています。院内の病理解剖数は減少傾向ですが病態不明や急変症例, 特に循環障害の割合が増加している印象で多くのことを学ばせてくれます。研修医や医学部生の教育的側面もあり先生方の熱意やご協力に感謝いたします。受託解剖(医学部附属病院病理診断科ホームページをご参照ください)も実施しておりますので, 予期せぬ死亡例などご相談ください。

教育面では, 学部3年生の前期に集中していた系統講義が学部2年生の後期から3年の前期へと延長され, 余裕を持った学習ができるように変更となりました。また, 従来どおり顕微鏡を使用した実習を行っていますが, すべての実習標本や従来では多数の切片を作成するのが困難であった生検標本をバーチャルスライド

に取り込み, 学内ではいつでも標本を閲覧・自習できる環境を解剖学教室とともに運営しています。病理診断科の臨床実習では, 医学部附属病院だけでなく, 県立宮崎病院, 県立日南病院にご協力いただいております。この場を借りてお礼申し上げます。その臨床実習生や病理診断科の研修医の中には県内外で病理医の道に進む人もおり, 病理学の魅力を伝える大事な場となっています。研究者育成コースでは高い意欲を持った学生が参加し, 1名は本年度の学会報告を予定しています。また, 協定校である中国上海交通大学やタイのソクラ大学などから短期留学生を受け入れ, 教室員にも刺激となっております。

研究面では, 長年, 動脈硬化症と血栓症の病理病態を研究しておりますが, 近年では羊水塞栓症などの危機的産科疾患, 宮崎県で発生が多発している重症熱性血小板減少症も研究対象としています。人体病理の特徴や変化を重視し, それを動物モデルなどで補う手法をとっています。学内では循環器内科, 心臓血管外科, 放射線科, 産婦人科, 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科, 超微形態科学, 物質科学, 循環生理学, 獣医学科と共同研究を展開しています。県内では宮崎市郡医師会病院や古賀総合病院, また国内外の研究施設から多くの協力を得て共同研究を活発に進めています。なお国内唯一の血栓症を専門とする病理学講座ということで, 吸引された静脈血栓などのコンサルトも受けております。研究成果は適宜教室ホームページ(下記QRコード)で紹介しておりますのでご参照ください。2022年からこれまでに博士課程3名(前川, 中村, 大栗)が学位を取得, 魏助教は, 癌細胞が静脈血栓塞栓症の血栓内に存在することを明らかにした研究で日本血栓止血学会学術奨励賞を受賞しました。前任の浅田名誉教授は永年にわたる動脈硬化に関する秀れた研究を評価され2024年に日本動脈硬化学会の大島賞を受賞し, これまでの研究成果を発表しました。これからも, 宮崎県の病理業務, 教育, 研究に全力で取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



講座ホームページQRコード

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(放射線科医会)



かきつばたようすけ
杜若 陽祐 会長

宮崎県放射線科医会は、宮崎大学医学部放射線医学講座の開講翌年にあたる1977年4月に発足しました。再来年には設立50周年の節目を迎えることとなります。発足当初は20名に満

たない会員数でスタートいたしましたが、現在では104名にまで増加しています。また、男性が76人、女性が28人、勤務医が83人となっています。地域別の構成では、宮崎市が75人、都城地区11人、延岡・日向地区10人、西都・児湯地区6人、日南地区2人となっており、宮崎市の会員が全体の72%を占めています。高速道路の開通や遠隔画像診断の普及が進んだとはいえ、宮崎市以外での会員の増加が望まれるところではあります。

この約半世紀の間に、放射線診断および治療機器は目覚ましい進歩を遂げました。私が大学で初めて担当した1980年ごろのCTは、1スライスの撮影に約10秒を要するシングルスキャン方式でした。現在では64列以上のマルチスライスCTが広く普及し、1秒未満で広範囲の撮像が可能となっています。MRIにおいても、0.1テスラの常電導装置から、1.5テスラを経て3テスラの高磁場装置が主流となりました。核医学分野では、かつて存在しなかったPET-CTが県内3施設に設置され、悪性腫瘍の診断には欠かせない検査法となっております。放射線治療に関しても、現在では県内8施設で稼働してお

り、強度変調放射線治療（IMRT）などを駆使して地域のがん治療に大きく貢献しております。

このように機器の高度化や施設整備が進んでいる一方で、診療に従事する放射線科医は依然として不足しており、大きな課題となっています。加えて、会員のうち78名（全体の約75%）が50歳以上と、高齢化の進行も無視できません。宮崎大学放射線科では、東教授を中心にマンパワー不足の解消に取り組み、本年は2名の新入局者を迎えることができました。若手医師の確保は、今後の地域放射線診療の継続と発展に向けて極めて重要なことと考えています。さらにこうした人材不足や高齢化に対応する手段として、人工知能（AI）の活用や、医療DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の効率化も不可欠と思われれます。

会員の学術的研鑽の場として、コロナ禍により長らく休止となっていた各種研究会も再開されつつあります。本年2月には、宮崎MRI研究会が5年ぶりに開催され、三重大学の佐久間肇先生より「心臓のMRI：知っておくべき撮影・読影のポイントと推奨クラスIの適応疾患、近未来の展望について」と題した講演があり、好評でした。また、11月には宮崎県核医学研究会の開催が予定されており、アミロイドPETに関する最新の話題が取り上げられる予定です。

宮崎県医師会の皆様には、放射線科医会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会

と き 令和7年4月26日(土)

ところ シーガイアコンベンションセンター

本県で臨床研修を始める研修医を歓迎し、また、研修医同士の連帯感を醸成することを目的に本年度も開催した。

県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ委員長で、宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センター長の小松教授の司会により開会し、医師会による研修医のための説明会、県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループによる教育セッションの後、臨床研修病院や協力施設の指導医などを交えた祝賀会を行った。出席研修医は64名（1年次59名・2年次5名）であった。

研修医のための説明会～医師会の役割について～

市来常任理事の司会により開会し、大塚常任理事が「医師会」について、落合常任理事が「医師会役員を経験して」、金丸副会長が「医師会入会のご案内」について説明した。

なお、本会から、記念品としてペンライトを贈呈した。

臨床研修スタートアップ・教育セッション

小松教授の進行のもと、現在の臨床研修制度を経験した若手医師および指導経験豊富な医師7名に、「2年間の臨床研修を充実させるための心構えとコツ」というテーマで、下記プログラムに沿ってご講演いただいた。

1 インTRODクシヨン

宮崎大学医学部附属病院

県臨床研修・専門研修運営協議会WG委員長

小松 弘幸 先生

2 “できレジ”を目指そう！

古賀総合病院 松浦 良樹 先生



3 救急サバイバル

宮崎大学医学部附属病院

田中 達也 先生

4 地域医療研修の魅力

県立延岡病院 中村 行人 先生

5 研修中の勉強法

県立宮崎病院 早川 学 先生

6 研修医Tips集

県立宮崎病院 米良 大雅 先生

7 研究のススメ

宮崎大学医学部附属病院

酒井 克也 先生

8 ストレスマネジメント

宮崎生協病院 松田 隆志 先生

新研修医祝賀会

本県で研修を始める1年次研修医を歓迎する祝賀会で、県から河野知事をはじめ、吉村病院局長・小牧福祉保健部長、宮崎大学から鮫島学長、賀本理事・病院長、教授・医局長・医療人材育成支援センターおよび卒後臨床研修センターのスタッフ、県内の基幹型・協力型臨床研修病院、協力施設の指導医など関係者および2年次研修医ら合計141名が出席した。

市来常任理事の司会・進行のもと、初めに主

催者を代表して河野会長が歓迎の挨拶を行い、その後、河野知事および鮫島宮崎大学長から研修医へ激励の言葉が送られた。次いで、新研修医を代表して宮崎大学医学部附属病院の小玉侑季先生がお礼と研修への意気込みを述べ、嶋本県立宮崎病院長の乾杯の発声で開宴した。宴の席上では、1年次研修医に一人ひとり自己紹介を兼ねて抱負を述べていただき、盛会裏に終了した。



令和7年度 1年次研修医（62名）

宮崎大学医学部附属病院	谷口 開紀	県立宮崎病院	山田二千海	県立日南病院
荒殿 聖太	玉利 恵一	市村ゆうき	児嶋 飛翔	海野 碧波
有泉真琴都	中島 啓吾	上原 裕哉	永峰 千賀	古賀総合病院
猪尾菜々子	根井 晴樹	大富 悠誠	野中 一成	永田なつめ
池田 達郎	日高 愛菜	大生 航輝	宮本 周作	宮崎生協病院
池田 美穂	増田 詩水	緒方 千浩	和田 尚之	岩崎佑姫奈
井上 忠彦	宮田 夏月	川越 裕日	県立延岡病院	小野原将貴
加地 美玲	宮田 梨緒	桐山 京介	岩本 稔里	斎藤 史織
金森 颯太	森 梨乃	坂元希良莉	緒方 天勇	藤元総合病院
川越 美空	山口万由子	谷 彩寧	川野 友裕	安達裕太郎
川崎 信幸	吉田 楓	徳村侑加子	坂本 康平	川畑 真人
熊谷 奏実	吉村 衣純	別府 剛行	佐藤 美羽	西森 健敏
小玉 侑季	和田 晃基	松島 良弥	原口 美咲	宮崎市郡医師会病院
佐保 航佑	日高 恵介	村社 優介	本田 悠人	松井 征哉

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

第182回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と き 令和7年6月14日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

中村議長が、代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に神尊敏彦代議員，坪井康浩代議員を指名した。

2 河野県医師会長挨拶

（要旨）日頃より県医師会運営に関して、一方ならぬご協力をいただいている。

役員一同、医師会の存在意義を再確認し、初心を忘れず、心一つにして全力で取り組んでいる。先生方におかれては今までにも増してご協力をお願いしたい。

医療を巡る環境は年々厳しさを増している。医療機関の赤字は例年に比べて大きく悪化しており、閉院・廃院も増えている。国民の生命と財産を守るこそが国の最大の責務ではないかと思うが、与党の力が落ちた現状では、今後の改定でも医療費削減は常に俎上に上がるものと思われる。私どもも無駄を省き効率を高め、正しい医療を行う自浄努力はしなければならぬ。しかし、公的皆保険の後退や国民医療費を必要以上に削減することには、我々は真っ向から異議を唱える必要がある。医療・介護職員についても他職種との給与格差が広がり、職員確保が困難になっている。消費税については毎年大きな問題として日医を通じて国に改善を要望しているが、国の姿勢は頑なである。消費税増税当初、国の説明では社会保障のためであるとの謳い文句であったが、実際には社会保障に回っているのはわずかしかない。さらに診療報酬に上乘せして補填してあるとの説明であるが、医療機関は補填不足により、現時点でも損税が発生している。医療機関数で割ると一機関あたり毎年数百万となる。引き続き損税解消を訴えてまいりたい。先生方におかれても各地域出身の国会議員や県議会議員、首長さん方への陳情をお願いしたい。私ども執行部も一致団結して「皆保険制度を堅持して地域医療を守る」

「医師会員を守る」意識をもって取り組んでまいる。執行部のみでは対応困難な場合には、先生方にご相談させていただく。先生方の今までに増すご指導並びにご協力をよろしく願います。

3 報 告

1) 令和6年度宮崎県医師会事業報告について

小牧副会長から事前配布資料を基に、次のとおり報告があった。

（要旨）令和6年度事業報告については、定款62条の規定に基づき、6月3日に開催した理事会で承認を受けたので、同規定に基づき報告する。事業については、令和6年3月に理事会で決定した事業計画に基づき会務を行い、組織強化に特に力を入れた。

【公益事業1】「生涯教育の推進と充実を図る事業」、【公益事業2】「地域医療及び救急医療の充実を図り、県民に公平な医療供給の推進を行うと共に「健康社会」の構築に寄与する事業」、【公益事業3】「県民の健康保持・増進に寄与する事業」、【公益事業4】の「保健事業の一体的推進を行う事業」、「その他の事業」に分けて掲載されている。

長年、新型コロナウイルス感染症で行事の中止や縮小開催を余儀なくされてきたが、ようやく昨年度から計画どおりに事業を行うことができたところである。

今後も、現地開催とWeb開催を併用しながら、会員の先生方が医師会に入会しているメリットを感じていただけるよう事業を行っていききたい。

2) 令和7年度宮崎県医師会事業計画について

小牧副会長から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

（要旨）令和7年度の事業計画は、定款61条の規定に基づき、3月11日に開催した理事会で承認を受けたので、同規定に基づき報告する。

公益法人としての事業計画は基本的には大きく変えることなく継続することが前提となっている。

重点項目としては昨年度と同じ内容を掲載している。具体的事項についても基本的には前年度踏襲であるが、主な変更点として、全国的に見て本県に多い肝臓での死亡についての調査の他、令和9年度に本県で開催予定の全国医師会共同利用施設総会について、国が進めている1か月、5歳児検診について、倫理審査委員会に関連する利益相反委員会について追記した。

3) 令和7年度宮崎県医師会収支予算について

荒木常任理事から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

(要旨) はじめに令和7年度予算作成に関する重要事項を3点説明する。

1点目は、予算作成方針の変更である。これまで、費用については、「念のため」予算化したものが多く含まれていたことにより、支出合計が大きく膨らむ傾向にあった。7年度以降は実際に支出が見込まれるものを計上し、より実態に近い予算となるよう変更した。

2点目は、積立金の取り崩しについてであり、職員の定年退職者2名に対し、職員退職給付積立の取り崩しを予定している。

3点目は、新たな固定資産の取得予定はないことである。

令和7年度収支予算額については、収益計は4億1,359万円、費用計は4億3,330万円、1,971万円の単年度赤字を見込んでいる。

最後に財務三基準について、収支相償と公益目的事業比率は条件をクリアしている。

遊休財産額は、令和7年4月の法改正により名称が「使途不特定財産」に変更され、除外要件が緩和されるので、今後除外するための理由付けなどを検討していく。

資金調達および設備投資の見込みを記載した書類については、7年度においては、収支に大きな影響を及ぼす借入れおよび設備投資は予定していない。

4 議 事

議案第1号 令和6年度 宮崎県医師会収支決算に関する件

荒木常任理事から、事前配布資料を基に、

次のとおり説明があった。

(要旨) 令和6年度決算の特徴として3点挙げていく。

1点目は令和6年能登半島地震へのJMAT派遣にともなう費用の精算について、本県から7チームを派遣し、大規模災害対応基金を取り崩して対応した。取り崩し額は535万3,258円であり、石川県と精算業務を行い、528万2,697円が返済されている。

2点目は当年度取得した固定資産について職員用のパソコン20台を取得した。

3点目は積立金について、会館設備購入積立資産①と、事務効率化整備積立資産の取り崩しを行った。具体的な見通しが立ったら再度積み立てを行いたい。

続いて、決算総額については、一般正味財産の収益計は4億1,952万1,685円、費用計は4億680万9,182円となり、税引後増減額は1,264万1,503円であった。また、減価償却費などを除いた資金ベースでも1,235万923円の黒字決算となった。

公益法人会計基準に定められた財務三基準について、当年度は、①収支相償、②公益目的事業比率は基準をクリアしているが、③遊休財産は、保有制限額である当年度の公益目的事業費用相当額は2億7,484万4,668円、遊休財産額は4億5,363万9,180円であるので、制限額を超えており、不適合となる。超過額は1億7,879万4,512円であるが、そのうち7,000万円は令和9年度の会館建設債返済に備えた積立のため除外し、残りの約1億円を、新たに規定された「公益充実資金」または「予備財産」とするため、配分を検討していく。

続いて田中監事から監査報告が行われ、中村議長の「以上の説明を受けて質問はないか」との問いに、質問もなく、採決の結果、議案第1号は原案どおり承認可決された。

議案第2号 令和8年度 宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

荒木常任理事から、定款21条に基づき、令和8年度も令和7年度と同様に徴収したいと説明が行われ、採決の結果、議案第2号は原案どおり承認可決された。

5 議長閉会宣言

最後に河野会長の謝辞の後、中村議長が閉会を宣言し、第182回定例代議員会を閉会した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

- 1 番 賀本 敏行
- 3 番 盛武 浩
- 5 番 牛谷 義秀
- 6 番 遠藤 豊
- 7 番 尾田 朋樹
- 8 番 金丸 禮三
- 9 番 楠元 直
- 10番 栗林 忠信
- 11番 桑原 正知
- 12番 神尊 敏彦
- 13番 内野 竜二※
- 14番 増田 好成※
- 15番 田中 宏幸
- 16番 坪井 康浩
- 17番 中山 健
- 18番 成田 博実
- 19番 原田 一道
- 20番 原田 雄一
- 21番 弘野 修一
- 22番 田口 利文
- 23番 福島 義隆
- 24番 高城 健司
- 25番 江夏 剛

- 26番 瀬ノ口洋史
- 27番 佐藤 信博
- 28番 池田 典文※
- 29番 大重 明広
- 30番 竹原 俊幸
- 31番 今給黎 承
- 32番 堀之内和代
- 33番 北村 洋
- 34番 松本 英裕
- 35番 中村 彰伸
- 36番 井藤 健※
- 37番 内村 大介
- 38番 園田 定彦
- 39番 植松 昌俊

出席37名

※は予備代議員

出席役員

- 会 長 河野 雅行
- 副 会 長 小牧 齋
- ” 金丸 吉昌
- 常任理事 荒木 早苗
- ” 市来 能成
- ” 吉田 建世
- ” 池井 義彦
- ” 高木 純一
- ” 赤須郁太郎
- ” 大塚康二郎
- ” 吉見 雅博
- ” 玉置 昇
- ” 落合 秀信
- 理 事 峰松 俊夫
- ” 佐々木 究
- ” 上山 貴子
- ” 田畑 直人
- ” 山中 聡
- ” 河原 勝博
- ” 吉村 雄樹
- ” 松岡 敬子
- 監 事 中村 周治
- ” 田中 穰式

出席23名

ご 案 内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は別途お送りいたします。

と き 令和7年11月3日（月・祝）
 と ころ ハイビスカスゴルフクラブ
 宮崎市佐土原町大字下田島21085-1

(担当 総務課)

令和7年度第82回宮崎県医師会総会

と き 令和7年6月14日(土)

ところ 県 医 師 会 館

市来常任理事の司会により開会し、はじめに物故会員の先生方に対し黙祷を捧げ弔意を表した。続いて、河野県医師会長の挨拶、来賓祝辞、来賓紹介を行った後、各種表彰・祝賀を執り行った。

◇物故会員（令和6年度総会以降）

川口 武俊 先生（宮 崎）
日高 正昭 先生（宮 崎）
平部 久彬 先生（宮 崎）
関屋 亮 先生（宮 崎）
早稲田 睦 先生（宮 崎）
井ノ口 寛 先生（宮 崎）
名越 敏秀 先生（宮 崎）
藤木 浩 先生（宮 崎）
小野 武己 先生（宮 崎）
秋吉 昌三 先生（延 岡）
喜多 省保 先生（児 湯）
鴻野 一元 先生（南那珂）
藪田 通広 先生（西 諸）
志戸本宗徳 先生（西 諸）
森満 保 先生（名誉会員）

◇河野県医師会長挨拶（要旨）

昨今は国の内外を問わず大きな動きが伝わってきており、混沌とした社会情勢と同じように、地域医療を取り巻く環境は大変厳しい状態が続いている。物価高騰や医療費削減の嵐の中で医療機関や介護施設は厳しい状態に陥っている。そのような中で緊急手当てとして補助金の支給をしていただいた。これも河野知事や国会議員の皆様のご尽力によるものであり感謝申し上げます。本年度も救済処置の要望をしているの

で、よろしく願いいたします。

コロナの猛威は一段落したが、医療を巡る課題は多く、大変厳しい情勢である。根本的な原因は国の医療費削減にある。また、少子高齢化、人口減少による影響も大きく、我が県の高齢化は全国平均よりも先を進んでいる。地域社会衰退の大きな要素として人口減少と同時に地域医療の崩壊が挙げられる。安定した社会生活には医療が不可欠であり、私ども医療に携わる者の使命は、県民の健康を守り、地域社会を守ることにある。

現代の社会において、このような我々の思いを実現するためには、政治、行政、大学や関連団体との密接な連携が不可欠である。もちろん、患者様、県民との信頼関係の構築が第一である。本会としては、今後も、会員の皆様と力を合わせて、県民医療・福祉向上のために、行政や各関係方面と協力しながら正面から取り組んでまいる。また、政治の関与が大変重要になってくる。議員の先生方には今後もさらにお世話になる。私どもとしても、議員の先生方が心置きなく活躍されるためには、全力を挙げてバックアップして、後顧の憂いなく活躍される基盤をゆるぎないものとする必要がある。

本日は、県医療功労者知事表彰、会員医療機関永年勤続職員表彰、高齢会員および各種表彰祝賀の披露を予定している。さまざまなご功績に対してあらためて敬意を表して心よりお祝い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

◇来賓祝辞及び来賓紹介

河野 俊嗣 県知事
 外山 衛 県議会議員
 渡辺 創 衆議院議員
 長峯 誠 参議院議員
 黒瀬 巖 日本医師会常任理事
 鮫島 浩 宮崎大学学長
 野邊 忠浩 県薬剤師会会長
 江藤 拓 衆議院議員（代理）
 古川 禎久 衆議院議員（代理）
 長友 慎治 衆議院議員（代理）
 松下 新平 参議院議員（代理）

◇宮崎県医療功労者知事表彰

高村 一志 先生（宮崎）
 榎原進一郎 先生（都城）
 平野 雅弘 先生（延岡）
 松岡 敬子 先生（日向）
 内田 俊浩 先生（児湯）
 上野 尚美 先生（西都）
 外山 望 先生（南那珂）

以上7名の先生方に対し、宮崎県医療功労者知事表彰式が執り行われ、河野知事から表彰状と記念品が手渡された。

◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関において、勤務年数が満30年に達した職員68名を代表して、村田多美子様（池井病院）に表彰状を贈呈し、引き続き、村田様より、祝意に対する謝辞が述べられた。

◇各種祝賀（高齢会員・各種表彰）

本会表彰内規により、喜寿・米寿をお迎えになる高齢会員（米寿9名、喜寿24名）および令和6度総会以降、叙勲、大臣表彰、知事表彰など、県関係以上の各種表彰を受賞された35名の先生方を表彰した。河野会長がご出席の高齢会員の先生方の席に出向き、お祝い金と記念品を贈呈した。続いて、各種表彰者を代表して、佐藤信博先生に記念品を贈呈し、引き続き、佐藤先生より、祝意に対する謝辞が述べられた。

【高齢会員祝賀】

米寿会員 9名

（昭和13年1月1日～昭和13年12月31日生）

後藤 勇 先生（宮崎）
 田崎 高伸 先生（宮崎）
 増田 好治 先生（宮崎）
 福島 正明 先生（都城）
 小池 祐一 先生（延岡）
 鶴 敬雄 先生（児湯）
 上山征史郎 先生（西都）
 松田 弘彦 先生（南那珂）
 針貝 正純 先生（西諸）

喜寿会員 24名

（昭和24年1月1日～昭和24年12月31日生）

川野啓一郎 先生（宮崎）
 河野 寛一 先生（宮崎）
 小牧 斎 先生（宮崎）
 先成 英一 先生（宮崎）
 谷口 二郎 先生（宮崎）
 谷村 俊次 先生（宮崎）
 永迫 伸一 先生（宮崎）
 福永 洋光 先生（宮崎）
 松岡 裕二 先生（宮崎）
 丸田 眞一 先生（宮崎）
 蓑田 優 先生（宮崎）
 山村 善教 先生（宮崎）
 吉村 広 先生（宮崎）
 小牧 文雄 先生（都城）
 東 秀史 先生（都城）
 森山 篤志 先生（都城）
 井上 博 先生（延岡）
 岡村 公子 先生（延岡）
 戸島 信夫 先生（延岡）
 前田 資雄 先生（延岡）
 渡邊 康久 先生（日向）
 田村 正三 先生（児湯）
 児玉 芳久 先生（西都）
 長田 直人 先生（西都）

【各種表彰受賞（章）】

(令和6年6月15日(土)総会以降～現在まで)

令和6年9月6日

救急医療事業功勞により県知事表彰

故 関屋 亮 先生 (宮 崎)

伊達 晴彦 先生 (都 城)

戸島 信夫 先生 (延 岡)

令和6年9月9日

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰

中山 郁男 先生 (都 城)

令和6年9月9日

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

飯屋 純人 先生 (都 城)

令和6年10月11日

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰

首藤 謙二 先生 (宮 崎)

令和6年10月19日

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰

河野 仁彦 先生 (都 城)

令和6年10月21日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

津守伸一郎 先生 (宮 崎)

甲斐 真弘 先生 (西 都)

令和6年11月3日

教育研究功勞により瑞宝中綬章

長田 幸夫 先生 (宮大医)

令和6年11月3日

保健衛生功勞により瑞宝小綬章

川名 隆司 先生 (宮 崎)

令和6年11月3日

保健衛生功勞により瑞宝双光章

峯 一彦 先生 (宮 崎)

令和6年11月7日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

柴田 博 先生 (宮 崎)

藤元静二郎 先生 (都 城)

令和6年11月7日

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生

労働大臣表彰

吉松 正明 先生 (都 城)

令和6年11月9日

全国学校保健・学校医大会日本医師会長表彰

富田精一郎 先生 (延 岡)

令和6年11月23日

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰

林 要人 先生 (都 城)

令和7年2月4日

公衆衛生功勞により県知事表彰

三原 敬 先生 (宮 崎)

義川剛太郎 先生 (都 城)

丸山洋一郎 先生 (延 岡)

兒玉 健二 先生 (西 都)

令和7年2月25日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

海老原爲博 先生 (宮 崎)

木下 義美 先生 (延 岡)

大塚 和子 先生 (西 都)

令和7年2月25日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰

坂口健次郎 先生 (都 城)

佐藤 信博 先生 (延 岡)

令和7年4月29日

保健衛生功勞により旭日双光章

山村 善教 先生 (宮 崎)

令和7年4月29日

学校保健功勞により瑞宝双光章

小池 祐一 先生 (延 岡)

令和7年6月14日

医療功勞により県知事表彰

高村 一志 先生 (宮 崎)

檀原進一郎 先生 (都 城)

平野 雅弘 先生 (延 岡)

松岡 敬子 先生 (日 向)

内田 俊浩 先生 (児 湯)

上野 尚美 先生 (西 都)

外山 望 先生 (南那珂)

九州医師会連合会第421回常任委員会

と き 令和7年6月7日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（熊本県福田会長）

3 報 告

1) 九州ブロック日医代議員連絡会議（6月7日(土)熊本市）について（熊本）

本常任委員会に引き続き開催される連絡会議で、日医今村英仁、濱口欣也常任理事の中央情勢報告の後、「日医医業経営検討委員会」および「診療所における新興感染症対策研修検討委員会」などの説明を行う予定である旨の報告が行われた。

2) 令和7年春の叙勲等受章者への慶祝について（熊本）

旭日双光章を受章した日医坂本泰三常任理事、藍綬褒章を受章した笹本洋一常任理事に祝意を表した旨の報告が行われた。

3) 第159回日本医師会定例代議員会（6月22日(日)日医）における代表質問について

（熊本）

締め切りの関係で、九医連福田会長と九医連蓮澤副会長が先に協議し、以下の3題をブロック代表質問として日医に提出した旨の報告が行われた

- ・「小児医療・周産期医療体制への強力な支援について」

上塘正人代議員（鹿児島）

- ・「医療DX 現状と課題（電子カルテ導入を含む）」 佐藤光治代議員（長崎）

- ・「高齢化社会における『かかりつけ医機能』と救急医療について」

小牧 斎代議員（宮崎）

4) 九州地方社会保険医療協議会委員（臨時委員）の推薦について（福岡）

令和7年10月13日付で、任期満了を迎える協議会委員を佐賀県、鹿児島県から推薦することが承認された。また、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県についても部会委員（臨時委員）の任期が満了となることから、各県で対応することが承認された。

4 協 議

1) 九州医師会連合会第423回常任委員会（7月26日(土)佐賀市）の開催について

（福岡）

九州ブロック学校保健・学校医大会並びに九州学校検診協議会に合わせ開催される九医連の常任委員会で、16時からホテルニューオータニ佐賀で開催することが承認された。

2) 九州医師会連合会監査会・事務引継ぎ（8月5日(火)熊本市）の開催について（熊本）

熊本県医師会館で、18時から監査会、18時半から事務引継ぎ（熊本県から福岡県へ）を開催することが承認された。

3) 各地区代表者懇談会（8月7日(木)日医）
の開催について（熊本）

2024年の公益法人制度改革にともなう外部理事・外部監事の選出方法などを協議すべく、日医代議員会議長および副議長の呼びかけにより開催される懇談会で、福岡県蓮澤会長が出席することが承認された。

4) 九州医師会連合会第424回常任委員会並びに第129回定例委員総会（8月23日(土)福岡市）の開催について（福岡）

ホテルオークラ福岡で、16時から常任委員会、17時から定例委員総会を開催することが承認された。

5) 令和7年度日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議（9月13日(土)那覇市）の開催について（沖縄）

ホテルコレクティブで、14時からブロック会議を開催することが承認された。

5 その他

骨太の方針2025や7月の第27回参議院議員通常選挙の動向などについて意見交換が行われた。

6 閉 会

出席者 - 河野会長、竹崎事務局長

お知らせ

令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生採用のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、採用に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 10名（男0人、女10人）

【就職希望地】 宮崎市内7名、都城1名、日向・延岡1名、西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

九州ブロック日医代議員連絡会議

と き 令和7年6月7日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

福田九医連会長（熊本県医会長）の挨拶の後、日本医師会の今村常任理事（日医）と瀧口常任理事（日医）から報告があった。

3 日本医師会からの報告

1) 医師偏在対策

日本医師会 常任理事 今村 英仁

昨年12月、厚生労働省の医師偏在対策推進本部から、「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が発表された。おおむね日医の考えに沿ったものではあるが、その中で医師偏在対策の基本的な考え方として、①経済的インセンティブなどの総合的な対策を行うこと、②医師の柔軟な働き方などに配慮したすべての世代の医師へのアプローチを行うこと、③地域の実情をふまえ、支援が必要な地域を明確にしたうえで、従来へのき地対策を超えた取組みを行うこと、が示された。

具体的な取組みとしては表のとおりである。

表. 対策パッケージにおける具体的な取組み

1	医師確保計画の実行性の確保
2	地域の医療機関の支え合いの仕組み
3	地域偏在対策における経済的インセンティブ等
4	医師養成課程を通じた取組み
5	診療科偏在の是正に向けた取組み

今後、3の経済的インセンティブにどこまで踏み込めるかが非常に重要であるが、5の診療科偏在は最後まで課題として残ると考える。

その他にも、医師少数県では臨床研修医が研修終了後にすぐ帰ってしまうことで、抜本的な解決につながらないといった問題もある。また、専門研修におけるシーリングの見直しが進められており、今年から来年にかけてその動向を注視する必要がある。



2) 周産期医療

日本医師会 常任理事 瀧口 欣也

昨年6月から10回にわたり「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」で議論を重ねてきた。本検討会で①費用の見える化を前提とした標準的な出産費用の自己負担無償化と安全で質の高い周産期医療提供体制の確保の両立、②希望に応じた出産を行うことのできる環境の整備、③妊娠期、産前・産後に関する支援などの3つに議論が整理された。

①では、令和8年度を目途に、産科医療機関などの経営実態などにも充分配慮しながら、標準的な出産費用の自己負担無償化に向けた具体的な制度設計を進めること

②では、「出産なび」の情報・機能を充実させることや、妊婦がサービス・費用に関する十分な情報に基づいて自己決定・取捨選択できる環境を整備すること

③では、妊婦健診の経済的負担の軽減や、産後ケア事業の推進などが支援の方向性として定められた。

ただし、具体的な結論は出ておらず、今後必要な制度的対応について議論を進化させていくことが求められている。多くの医療機関が赤字の状態にあるので、まず経営が立ち行かなければ、こうした検討を重ねても本末転倒になってしまう。現行制度よりもより優れた制度ができない限りは、日医としては容認できないということを一貫してこの検討会で主張している。

4 座長選出

慣例により福田九医連会長（熊本県医会長）を座長に選出

5 日本医師会委員会報告

1) 医業経営検討委員会

吉田 建世 委員（宮崎県）

今期から「医業経営検討委員会」へ名称を変更し、松本会長（日医）からの諮問は、「医業経営の安定化における諸課題」となっている。委員会は過去3回開催し、いずれも各委員が持ち込んだ資料の検討を行っている。今回はこの資料をお示しする。**第1回目「医療機関の経営難と令和6年度の補正予算・我が国の医療費について」**

(R6.12.19)

病院の医業利益率の年次推移について、福祉医療機構の調査では、令和5年の段階で特に急性期（一般病院）が過去最大の2.3%赤字となっている。また、四病協、日本慢性期医療協会、全国自治体病院協議会が行った2024年度診療報酬改定後の経営状況調査では、医業利益・経常利益ともに赤字病院が6割を超え、割合が増加している。

第2回目「講演 医療福祉マネジメント論（松村専門委員）」(R7.2.25)

財務省は、医療機関の内部留保について、「現在赤字の医療機関でも内部留保があるため簡単には潰れない」と述べている。内部留保は過去の利益の蓄積で、長い法人ほど蓄積されているが、赤字経営の多くが内部留保を取崩し借入金返済に充てている。そもそも内部留保の取崩しは資金繰りの話であるため、経常損益計算や経常利益率算定に影響せず、医療機関が儲けているという論調は財務省の恣意的な指摘である。

第3回目「医療機関が利用可能な公的支援制度・医業経営の安定化における諸課題」

(R7.4.24)

福祉医療機構による資金繰り改善のため優遇融資の拡充がなされた。無利子かつ無担保で前年度より収入が悪化している医療施設に対して、ベースアップ評価料を届け出ている施設が利用可能である。その他、「働き方改革推進支援助成金」「省エネルギー投資促進支援事業費補助金」がある。医業経営の安定化における諸課題については、物価高騰、高額薬剤の問題、薬局

チェーン店の過大な利益、人材不足による人材紹介会社の手数料の問題などが挙げられた。特に民間の紹介業者から紹介された医師や看護師などの離職率が高く、紹介手数料も高額であるため、非常に問題となっている。

2) 診療所における新興感染症対策研修検討委員会

高山 義浩 委員（沖縄県）

本委員会は松本会長（日医）の諮問を受けてプロジェクトとして設置されたもので、令和5年10月に始動し、全国の診療所における感染管理の体制を充実させ、地域で展開していただくことを目指している。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックを通じ、大学病院や基幹病院に加え、それらと連携する診療所の役割と重要性が再認識された。特に診療所では限られたスペース、感染管理物品の確保やマンパワーの不足といった制約の中で診療を継続するという難題に直面した。こうした教訓をふまえ、昨年度開催された新興感染症対策研修会では、全国から100名を超える医師が集い、診療所だけでなく在宅医療や施設支援なども視野に入れたモデル研修を行った。

令和7年度は、研修会の名称を新たに「リーダー研修」として位置づけることとし、各都道府県において新興感染症対策を企画実施するリーダーの養成を目指すもので、研修の構成内容（案）は以下のとおりである。

「診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修」

開催日 令和7年10月13日(月・祝)

場所 日本医師会館

研修構成 「事前・当日・事後」の三段階構成

希望ニーズの高かったゾーニングや一歩進んだ地域防衛力を身につけていること、そして地域で研修会を構築することができるノウハウを重視する方針としている。

出席者 - 河野会長, 小牧・金丸副会長,
市来・吉田常任理事, 竹崎局長,
畠中主事, 弓削主事

令和7年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 令和7年5月23日(金)

ところ 日本医師会小講堂 (Web会議)

1 開 会

2 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

1) 令和6年度担当医師会報告

福岡県医師会 常任理事 戸次 鎮史

令和6年10月26日(土)に「勤務医の声を医師会へ、そして国へ～医師会の組織力が医療を守る～」をメインテーマに福岡市にて開催された。約430名の出席者で、会の最後には、「ふくおか宣言」が採択された。翌日には勤務医交流会も開催され、非常に活発な議論が交わされたことが報告された。

2) 令和7年度担当医師会挨拶

岩手県医師会 常任理事 宮田 剛

令和7年11月8日(土)に「勤務医が生き生きと活躍できる場を作る～混沌を成長の機会に～」をメインテーマに盛岡市にて開催予定である。岩手県は医師最少県であり、その中でどのように勤務医が活躍していくのか、さまざまなお意見をうかがう機会としたい。また翌日には、前年度と同様に勤務医交流会も計画しているので、ぜひ多くの先生方にご出席いただきたい。

3 協 議

1) 医師偏在対策について

日本医師会 常任理事 今村 英仁

昨年末、武見厚労大臣のもとで医師偏在対策が進められ、「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が策定され

た。これは、昨年8月に日医から「医師偏在は、一つの手段で解決するような魔法の杖は存在せず、解決のためにあらゆる手段を駆使して複合的に対応していく必要がある」と発信した取組みがおおむね反映されたものとなっている。令和6年度補正予算で先行的に財政支援を行っている取組みもあるが、関連法の施行や予算措置など本格実施は令和8年度からとなる。

中でも経済的インセンティブについては、1千億円規模の新たな医師偏在対策基金が必要であると日医として主張している。また、全国的なマッチング機能の支援についても、日医で受託し令和7年度から先行的に開始しており、各都道府県医師会と密に連携しながら機能の充実を図っていく。

これからの地域医療は、「治す医療」から「治し支える医療」の機能分化・収斂と地域連携が求められており、特に医療と介護の連携がさらに重要となってくる。そのために、勤務医の先生方にも地域連携に関心を持っていただくことが不可欠である。医療界が一致団結することで全体的な医療の底上げを図り、国への影響力が強まるよう、今後ご理解・ご協力をお願いしたい。

2) 医師会と大学との協働について

大分大学医学部医師会 会長 猪俣 雅史

大分県は全国平均を上回る少子高齢化が進む「日本の縮図」であり、医師の地域偏

在・診療科偏在，医師の高齢化が深刻な課題であった。その解決策として，2010年に大分県と連携して「地域医療学センター」を設立し，地域卒学生への教育・指導・メンター，地域卒卒業医師へのキャリア支援などを行ってきた。さらに，2018年に大分県医師会と連携して「大分大学医学部医師会」を発足させた。医師会の活動に加わることが地域医療活性化につながるという方針のもと，医局単位でまとめて医師会入会の手続きをすることで，確実に医師会員数を増やしている。

また，次のステップとして「大分大学内科医療人材育成事業」を展開している。医師会病院をはじめとするへき地医療拠点病院が「寄附講座」として大学に助教の枠を作り，大学が各病院へ助教1名を配置して，医局が若い専攻医を1名以上派遣するというモデルを作った。7年間で41名の専攻医派遣を行っており，地域医療の偏在解消に大きく役立っている。

このように，大分県では大学，医師会，自治体が三位一体で医師の地域偏在，診療科偏在の解決に取り組んできた。今後は，ベテラン医師のリカレント教育を推進するため，シミュレーションセンターの構想を進めている。

4 会長挨拶

日本医師会 会長 松本 吉郎

総理官邸で石破総理と面談し，物価高騰や賃金上昇，日進月歩する医療技術に対応するための財源確保をお願いしてきたところである。病院も診療所も経営がますます厳しくなっており，特に勤務医・大学教員の給与が低く，大学から人材がいなくなっているという現状もお話ししてきた。

現在野党が，消費税率や社会保険料を下げるという主張をしているが，もし両方ともなされれば医療費の削減に直結してしまう。これには当然日医として反対の立場であるが，自民党が少数与党になっており，非常に厳しい状況に追い込まれている。日医の発言力を高めるためにも，先生方には強力なご支援をいただきたい。

5 閉 会

出席者－（日医出席）田畑理事

（Web出席）落合常任理事，
峰松・内藤理事，
串間課長補佐

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	c	c	c	d	a	d	e	c	a

日医インターネットニュースから

■電子処方箋, 電子カルテと「一体的導入」 — 厚労省 —

厚生労働省は、電子処方箋の医療機関への普及を図る上で、電子カルテや電子カルテ情報共有サービス（電カル共有）との一体的な導入を進める方針だ。2030年までに、電カル共有に対応可能な電子カルテを整備する、全ての医療機関に対し、電子処方箋の導入を目指す。7月1日に開いた「『医療DX令和ビジョン2030』厚生労働省推進チーム」で示した。

厚労省は電子処方箋について、25年3月までに、おおむね全国の医療機関・薬局に普及させることを目指していた。薬局の普及率は、25年6月22日時点で82.5%に上り、今夏に目標を達成する見込み。一方、医療機関の普及率は、病院が13.4%、診療所が19.6%にとどまっている。

厚労省は過去に行った調査で、電子処方箋を導入している医療機関は、電子カルテを導入しているケースがほとんどだったと説明。電子処方箋の普及には電子カルテの導入が重要だと考え、電子カルテや、電カル共有との一体的な導入を進める。

電子カルテについては、遅くとも30年には、おおむね全ての医療機関で導入を目指すとしている。これを踏まえ、電子処方箋の新たな目標として、遅くとも30年までに「患者の医療情報を共有するための電子カルテを整備する、全ての医療機関への導入」を目指す。

●電子カルテ, 電カル共有, 来夏に策定

厚労省は26年夏までに、電子カルテと電カル共有の具体的な普及計画を策定する方針も示した。

電子カルテ未導入の医療機関には、デジタル庁が開発中の「標準型電子カルテ」か、電カル共有に対応したクラウド型電子カルテの導入を進める。電子カルテ導入済みの医療機関には、

システムの次回リプレイス時に、電カル共有や電子処方箋に対応するシステムへの改修を進める方針だ。

1日の会合で福岡資麿厚生労働相は、「医療機関のシステム費用上昇が経営に影響しているとの声がある」と述べ、電子カルテについて、今あとは高コストなオンプレミス型から、クラウド型への移行を進める考えを示した。

医療機関の負担に配慮しながら、電子処方箋と電子カルテを医療機関へ一体的に普及させるよう、取り組みの加速化を求めた。

(令和7年7月4日)

■医療機関倒産, 1～6月で35件 — 帝国DB「過去最多ペース」—

帝国データバンク（DB）は7月8日、2025年上半期（1～6月）の医療機関（病院・診療所・歯科医院）の倒産は35件で、過去最多のペースだったと発表した。物価・人件費の上昇による収益性悪化や、建物の老朽化、経営者の高齢化が背景にあると分析。このままのペースで推移すれば、年間倒産件数は、初めて70件に達する可能性があると予測した。

これまで年間倒産件数が最多だったのは24年の64件。24年上半期の倒産は34件だったが25年はそれを上回った。内訳は、病院が9件、診療所が12件、歯科医院が14件となっている。病院の倒産件数は、過去最多だった07年の年間18件に並ぶ水準だった。負債10億円以上の倒産は4件で、全て病院だった。

●診療報酬, 費用賄うには「ほど遠い」

倒産増加の背景にある収益性の悪化について、医療機器の価格や人件費、給食費、光熱費が高騰し、診療報酬は「それらの上昇分を賄うにはほど遠い」と言及した。

病院については、建設費高騰や資金難で新たな施設を建設できず、事業存続が困難になる「建物の老朽化」も課題に挙げた。病院の建物の耐用年数は、財務省令で39年と定められている。帝国DBによると、病院を経営する全国の5132法人のうち、39年前の1986年以前に設立された法人は、全体の53.4%だった。

診療所などでは、経営者の死亡や高齢化で事業継続が困難になるケースが急増していると指摘した。

(令和7年7月11日)

■参院選当選の釜范氏「責任の重さ感じる」 — 改定へ合意形成に全力 —

参院選比例代表で初当選した日医の釜范敏副会長は7月23日の定例会見で、「さまざまな方々からの支援に、心から感謝申し上げるとともに、責任の重さを強く感じている」と心境を語った。2026年度診療報酬改定に向けては、「適正な額に引き上げていくには、多くの方々の合意が形成されないと実現しない」と説明。「現場の状況を正確に伝え、多くの方々の賛同をいただくことに全力で取り組む」と決意を表明した。

釜范氏は、選挙戦で訴えた医療・介護・福祉現場の厳しい現状に対する理解を広げ、持続可能性を実現するため全力を尽くす考えを改めて示した。今回の参院選で、社会保険料を引き下げ手取りを増やす主張が目立ったことにも触れ、「私自身の認識とは異なる意見だ」と説明。その上で、「国民に最も適切な対応、着地

点がどこなのかきちんと議論して、合意形成することが必要だと痛感している」との認識を示した。

日医副会長の役職については、「参院議員と兼務するのは、とても無理だと思っている」として、しかるべき時期に辞任する意向を示した。松本吉郎会長は「およそ3カ月以内には後任を決定したいと思っている」と述べた。

●組織強化「もう一段強める」 松本会長

松本会長は、比例代表における自民党の得票数が22年の参院選の3分の2に減少する中、釜范氏の得票数は22年に日本医師連盟の組織内候補として出馬した自見英子氏の得票数と比べ、約18%減にとどまったなどと説明。「自民党が苦戦を強いられる中では、非常に頑張ったのではないか」との認識を示した。一方、「組織強化については、もう一段強めて取り組んでいかないと、さらに大変になるという感じはしている」とも述べ、今回の選挙戦を分析し今後の選挙に生かしていく必要性を示した。

石破茂首相への辞任要求が自民党内からも上がるなど、不安定な政治情勢が報じられていることについては、「政局がどうなるのか見通せないが、私たちの医療政策に対する考え方・主張が変わるわけではない」と説明。「政治の枠組みがどのようになろうとも、私たちの考えをしっかりと伝えながら、議論に入っていく」との考えを示した。

(令和7年7月25日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字 (半角)

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合 第41回通常総代会

と き 令和7年6月14日(土)

ところ 県 医 師 会 館

第41回通常総代会は、金丸副理事長の開会宣言後、議場に議長選出を諮り、中村彰伸先生が選出された。総代の出席者数、書面議決および委任状を確認後、中村議長が通常総代会の成立を宣言した。河野理事長から、「昨年度はコロナ禍の影響が一部残ったものの、組合員の先生方のご支援により業績はおおむね順調に推移させていただいた。今後も物価高騰や働き方改革などの社会情勢を注視し、組合の事業運営に取り組んでまいりたい」との挨拶後、上程された4議案についての審議があり、すべて原案のとおり承認可決された。

議案第1号 令和6年度事業報告、決算及び剰余金処分案の承認を求める件

赤須専務理事から、共同購買事業は、医療機器の取扱いが好調で前年比121.5%に伸ばしたことが要因となり、購買全体では前年度比102.4%、カード取扱事業の利用件数は前年度とほぼ変わらなかったものの、カード登録枚数の減少により、事務手数料は前年度比94.3%、幹旋集金事業は、マンション幹旋が低調だったため前年度比58.5%、集金部門は前年度比99.7%、保険事業は、所得補償保険料・火災保険料の改定にともなう更改手続きが順調だった

ことが要因となり、損害保険手数料が前年度比117.6%、生命保険手数料は、提携先のリスクマネジメント・ラボラトリー社の契約案件の増により前年度比108.8%など、主要事業の実績報告があった。

吉田副理事長から、財産目録、貸借対照表、損益計算書により当期純利益は3,391万余円、資産合計7億944万余円、前期繰越剰余金1,491万余円、当期未処分剰余金4,882万余円など決算内容について報告があった。桑原監事からの監査報告後、剰余金処分案の説明があり、原案のとおり承認可決された。

議案第2号 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認を求める件

赤須専務理事から、新基幹システムの構築と本稼働、ホームページの全面リニューアル、主要事業の購買事業およびマンション・車両紹介の幹旋事業の推進、メディカルカード事業の継続に向けた制度の見直し、保険事業は、医師賠償責任保険など廉価な保険料で契約可能な団体契約の提案、個別契約における適切な提案を行う。医業経営支援事業については、地域医療提供体制を堅持する最重要課題として取り組む。医療機関の事業承継、医師の職業紹介などの具体的な相談案件は、顧問弁護士・税理士など各

分野の専門家と連携しながら個別に対応する。
また、県医師会・各郡市医師会、全医協連・九
医協連などの関係団体と連携を図りながら、既
存事業をさらに充実させ、組合員が必要とする
新規事業を提案するなど、重点施策について説
明があった。

吉田副理事長から、令和7年度収支予算案の
主要計上科目ごとの説明があり、収入・支出と
も合計1億5,362万余円（前年度比6.8%増）、
税引前目標利益は、3,305万円（前年度比5.6%
減）の見込みと説明があり、原案のとおり承認
可決された。

出席総代（理事含む47名）

牛 谷 義 秀	河 野 雅 行	瀬ノ口 洋 史	山 中 聡
尾 田 朋 樹	河 原 勝 博	田 中 穰 弐	松 本 英 裕
楠 元 直	小 牧 斎	河 野 仁 彦	大 塚 康 二 朗
桑 原 正 知	佐々木 究	佐 藤 信 博	中 村 彰 伸
神 尊 敏 彦	高 木 純 一	竹 原 俊 幸	井 藤 健
中 山 健	玉 置 昇	赤 須 郁 太 郎	山 田 孝 俊
成 田 博 実	内 野 竜 二	吉 田 建 世	内 村 大 介
原 田 雄 一	篠 原 立 大	池 田 典 文	園 田 定 彦
弘 野 修 一	田 口 利 文	今 給 黎 承	池 井 義 彦
市 来 能 成	福 島 義 隆	堀之内 和 代	吉 村 雄 樹
上 山 貴 子	高 城 健 司	松 岡 敬 子	井 尻 裕 司
金 丸 吉 昌	江 夏 剛	北 村 洋	(敬称略)

議案第3号 借入金残高最高限度額決定の件

議案第4号 役員報酬決定の件

吉田副理事長から、議案第3号は借入金残高
最高限度額を1,000万円とし、議案第4号は予
算の範囲内で、役員報酬は理事（8名）で299
万円、監事（2名）は16万円の提案があり、原
案のとおり承認可決された。

すべての議案審議終了後に、河野理事長から
謝辞が述べられ、あわせて今年10月11日(土)に
シーガイアコンベンションセンターにて開催予
定の当組合創立40周年記念行事への参加を呼び
かけられた。中村議長の閉会宣言後、総代会の
全日程を終了した。

医師国保組合だより

■ 医師国保組合加入者の所得調査について

厚生労働省の通知に基づき、被保険者に係る地方税法の規定による市町村民税の課税標準額の調査（所得調査）を実施します。調査時期は9月です。

この調査はすべての国保組合において実施されるもので、国において最新の所得情報を把握し、今後の国保組合に対する定率国庫補助などの算定に適切に反映させることが目的とされています。

調査方法は、原則、被保険者のマイナンバーを利用した情報連携により課税標準額を取得する方法により実施します。なお、取得した情報は、適切に管理し本調査の目的以外に使用することはありません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■ 「資格情報のお知らせ」及び「資格確認書」の一斉交付について

当組合にご加入されている方のお手元の健康保険証の有効期限は令和7年12月1日に満了となります。満了を迎えるにあたり、次のとおり送付しましたのでご確認ください。（令和7年7月中旬発送）

○マイナ保険証をお持ちの方には、「資格情報のお知らせ（A4用紙）」を送付しております。

受診の際は、マイナ保険証をご利用ください。医療機関などでマイナ保険証を利用する際に、なんらかの事情で資格確認を行えなかった場合は、「資格情報のお知らせ」とマイナ保険証をセットでご提示ください。マイナポータルの資格情報画面とセットでも利用可能です（「資格情報のお知らせ」単体では受診できません）。また、70歳以上の方には、毎年、負担割合のほか有効期限（1年）を記載した「資格情報のお知らせ」を送付します。

○マイナ保険証をお持ちでない方には、「資格確認書（青色プラスチックカード）」を送付しております。

有効期限は令和12年7月末までの5年間です。紛失などされないようにお願いします。（70歳以上の方の有効期限は1年間）資格を喪失する場合などには、資格喪失届とともに返還をお願いします。

受診の際は、「資格確認書」を医療機関などの窓口で提示することで、これまでどおり受診できます。また、70歳以上の方には、これまで高齢受給者証を別途交付しておりましたが、資格確認書に負担割合を記載することとなりましたので今後は交付いたしません。70歳以上でマイナ保険証をお持ちでない方には、毎年、負担割合を記載した「資格確認書」を交付します。

なお、マイナ保険証を利用すれば、事前の手続きなく高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されますので、マイナ保険証の利用登録をお願いします。

■ 令和7年度「日曜日の健康診断」について（宮崎市郡医師会病院健診センターで実施）

日曜日は、医師国保の組合員とご家族のみの貸し切りです。ご夫婦での利用も増えております。ぜひご利用ください。

日曜日健診…予約は当組合へ（☎0985-22-6588） Webでお申込みください⇒

※平日・土曜日（午前のみ）の予約は直接健診センターへ（☎0985-77-9108）



【日曜日健診専用】

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

ご 案 内

宮崎県医師会臨床研究倫理審査事業について

各種学会・学術集会などの研究発表や、論文投稿などにおいて、「ヘルシンキ宣言」の倫理的原則に則り「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいた研究倫理審査委員会での承認が求められるようになっていきます。

宮崎県医師会医学会誌においても、第49巻第1号（令和7年3月発行）から、原則として症例報告、総説、論説、学会記録のカテゴリを除き、倫理審査委員会の承認が必要となっています。

こうした状況をふまえ、本会では、自院で倫理審査委員会を立ち上げることでできない会員の先生方の研究等支援を目的として、本会内に臨床研究倫理審査委員会を設置し、令和7年3月14日から、臨床研究倫理審査事業を開始しました。

1 審査対象

- (1) 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（厚生労働省）の対象となる研究であること
- (2) 本会会員または研究分担者の中に本会会員を含む研究であること
- (3) 日本国内において実施する研究であること
- (4) これから新たに開始しようとする人を対象とする研究であること
- (5) 介入を行う研究あるいは侵襲（軽微な侵襲を除く）を伴う研究でないこと

なお、所属されている組織に倫理審査委員会がある場合は、そちらで審査をしてください。また、研究者及び分担研究者が、倫理講習^{※1}を受講していることが必要です。

※1 倫理講習はWebで受講できます。

2 申請方法

本会ホームページに申請方法、規定、申請様式、Web講習の情報などが記載されていますので、ご覧ください。

アドレス <https://www.miyazaki.med.or.jp/rinrishinsa>

3 審査料金

(1) 迅速審査	通常は迅速審査となります	4万円
(2) 会議審査	会議審査が必要と判断された場合	10万円

なお、当面の間「(1) 迅速審査」、「(2) 会議審査」とも50%減免とします。

4 その他

倫理審査が必要かどうか、本会委員会の審査対象となるかのお問い合わせについては、行おうとする研究の概要を文書でお知らせください。

メールアドレス office@miyazaki.med.or.jp（県医師会 学術広報課）



理事会日誌

令和7年6月3日(火) 第1回理事会

医師会関係 (議決事項)

議案第1号

令和6年度 宮崎県医師会 事業報告に関する件
事業報告書案に基づき説明が行われ、変更項目等の確認を行った後、審議の結果、軽微な変更は河野会長に一任することとした上で、原案通り可決承認された。

議案第2号

令和6年度 宮崎県医師会 収支決算に関する件
令和5年度収支決算の説明が行われた後、財務三基準の収支相償は2段階の基準と公益目的事業比率の基準は満たしたが、遊休財産額の基準はクリアしていないとの説明が行われた。この超過額のうち、令和9年度の会館建設償返済に備えた積立を除外した1億円を、新たに規定された「公益充実資金」または「予備財産」とするため配分を検討するとの説明が行われた。

その後、「5月23日に法人運営と財務会計の監査を行い、関係書類も整備され適正妥当である」との監査報告があり、審議の結果、原案通り可決承認された。

議案第3号

令和6年度 宮崎県医師会 会費賦課徴収に関する件

令和7年度と同様に会費賦課徴収規程等により徴収することが可決承認された。

(報告事項)

1. 令和6年度 資金運用結果について

令和7年6月3日(火) 第5回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 役員等報酬支給について

県医師会役員等の報酬等規程に基づき、報酬を支給することが承認された。

2. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき、宮崎県人事委員会の勧告を参考に、社会情勢等を踏まえて、期末・勤勉手当を支給することが承認された。

3. 業務委託について

①令和7年度医師養成・確保支援事業の委託契約について

→医師のキャリア形成と県内の医師不足解消を目的に、高校生向け説明会、県内の臨床研修病院や専門医プログラムの説明会などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト2025の名義後援について

→県民に“いのちのリレー”について考えていただく機会にすることを目的に開催されるポスターコンテストで、名義後援を行うことが承認された。

5. 6/14(土) (県医) 県医師会定例代議員会・総会について

進行や役割分担、提出議題等が承認された。

6. 医療機関の安全に関する協定について

医療機関における医療従事者、患者及びその他来院者の犯罪被害を防止するための取組を推進することにより、安全で安心な社会の実現を目指すことを目的に、県警察本部と協定を締結することが承認された。

また、院内での広報活動に協力する医療機関については、今後、選定することとなった。

7. 12/15(月) (県立看護大学) 県内医療機関合同就職説明会について

県立看護大学学生への就職支援の一環として、県内医療機関の情報をより多く得る機会を設けることを目的に開催される説明会で、会員医療機関に周知することが承認された。

8. 8/30(土)・31(日) (群馬) 第31回全国医師会共同利用施設総会について

「地域に根差した医師会共同利用施設のあり方～2040年問題が及ぼす影響と対策」をメインテーマに開催される総会で、2年後の本県開催に向けた視察を兼ねて、本会と関係郡市医師会の役職員で参加することが承認された。

(報告事項)

1. 5月末日現在の会員数について
2. 5/28(水) (西諸) 西諸医師会との意見交換会について
3. 6/3(火) (県医) 県学校保健会理事・評議員会について
4. 6/3(火) (県医) 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育庁表彰審査会について
5. 5/30(金) (宮崎市民プラザ) 社会を明るくする運動宮崎県推進委員会について
6. 5/30(金) (県防災庁舎) 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会について
7. 5/30(金) (県医) 学校医部会理事・評議員会について
8. 5/18(日) (福岡) レジナビフェア福岡について
9. 5/29(木) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
10. 5/31(土) (県医) 死体検案研修会について
11. 6/2(月) (県医) 県糖尿病対策推進会議小幹事会について
12. 5/30(金) (県医) 県有床診療所協議会役員会について
13. 5/28(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

医師連盟関係
(議決事項)

1. 6/14(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について
提出議題や当日の進行、役割分担を確認し開催することが承認された。
2. 令和6年度県医師連盟会務報告について
要望活動や次期参議院議員選挙に対応したことを報告、承認され、6月14日に開催される執行委員会に上程することとなった。
3. 令和6年度県医師連盟収支決算について
収入合計3,000万7,150円、支出合計、3,009万4,090円、次期繰越金4,198万2,137円からなる決算が承認され、6月14日に開催される執行委員会に上程することとなった。
4. 6/6(金)参議院議員長峯誠選挙対策会議のご案内について
第27回参議院選挙に向けて開催される会議で、出席者を検討することとなった。
5. 6/8(日)参議院議員長峯誠事務所開きのご案内について
第27回参議院選挙に向けた事務所開きで、出席者を検討することとなった。

令和7年6月10日(火) 第2回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ①宮崎県麻薬中毒審査会委員の推薦について
→麻薬の乱用による保健衛生の危害を防止するとともに公共の福祉の増進を図ることを目的に設置される審査会委員の、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、大藤雪路先生を推薦することが承認された。
 - ②医療機関勤務環境評価センターの医療サーベイヤー推薦について
→年間の時間外労働時間が960時間を超える医師が在籍する医療機関が、医療法で規定された「特定労務管理対象機関」として都道府県の指定を受けるための評価センターのサーベイヤーについて、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、池井常任理事と嶋本常任理事を推薦することが承認された。
2. 業務委託について
 - ①令和7年度女性医師等就労支援事業の委託契約について
→女性医師等が仕事と家庭の両立を図り、医師として働き続けられる環境作りを支援することにより本県の医師確保を図る事業で、契約を締結することが承認された。
 - ②令和7年度産業医研修事業の委託契約について
→認定医向けの生涯研修会と研修会を円滑に行うための産業医研修連絡協議会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。
3. 後援・共催名義等使用許可について
 - ①7/20(日) (県総合保健センター) SBIRTS 普及推進セミナーの共同開催について
→酒害に関する社会啓発と地域の断酒組織の結成を促し、アルコール依存症からの回復を支援するとともに酒害の及ぼす社会悪の防止と広く社会福祉に貢献することを目的に開催されるセミナーで、共同開催することが承認された。
4. 九州医師会連合会会員数等について
九州医師会連合会会則に従い、九州医師会連合会常任委員として河野会長、委員として小牧・金丸副会長、荒木・市来・吉田・池井常任理事、中村議長を選出することが承認された。また、会員数等については、事務局で確認の上、報告することとなった。

5. 予防接種後健康状況調査事業の実施機関の推薦について

「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」については県小児科医会に、「带状疱疹ワクチン」については県内科医会に推薦を依頼することが承認された。

6. 7/3(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、玉置常任理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 10/26(日) (日医) 社会保険指導者講習会の開催について

6年ぶりに開催されるセミナーで、嶋本常任理事を中心に参加者等を検討することとなった。また、後日、本県で伝達講習会を開催することが承認された。

(報告事項)

1. 6/4(水) (県医) 県アイバンク協会理事会について
2. 6/7(土) (熊本) 九医連常任委員会について
3. 6/9(月) (県医) 医療機関の安全に関する協定式について
4. 5/27(火) (県婦人会館) 県移植推進財団定例理事会について
5. 6/7(土) (熊本) 九州ブロック日医代議員連絡会議について
6. 6/9(月) (県総合保健センター) 県健康づくり協会理事会について
7. 6/5(木) 日医医療秘書認定試験委員会について
8. 6/6(金) (宮大医学部) 宮大医学部生対象マッチング登録説明会 & 県内基幹型臨床研修病院合同説明会について
9. 6/5(木) (県防災庁舎) 県循環器病対策推進協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/17(火) 日医連拡大選挙対策会議開催について
河野委員長が出席することが承認された。
2. 病院支部への働きかけ要請について
全日本病院協会支部長の池井常任理事と、医療法人協会日本支部の赤須常任理事に支援を要請し、後日、日本病院会支部長と日本精神科病院協会支部長に役員から要請することが承認された。
3. 九州医連連絡会の役員について
九州医連連絡会規約に従い、常任執行委員として本県医師連盟の河野委員長、執行委員として九州医師会連合会委員である小牧・金丸・荒木・市来・吉田・池井・中村委員を選出することが承認された。

令和7年6月24日(火) 第6回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による日医・県医会費減免1名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①地域医療構想アドバイザーの推薦に係る承認について

→各構想区域の実情に応じたデータの整理や論点の提示等の地域医療構想調整会議の事務局が担うべき機能を補完する役目である地域医療構想アドバイザーについて、宮崎大学医学部を退官された鈴木斎王先生の後任として、県から提案のあった2名に加え、落合常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県献血推進協議会委員等の推薦について

→献血への理解と血液事業の適正な運営の確保を目的とした協議会委員の、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き峰松理事を推薦することが承認された。

③宮崎県自殺対策推進協議会の委員等の交代について

→県内の関係機関が連携し総合的な自殺対策を推進することを目的に設置される協議会の任期満了に伴う推薦依頼があり、委員に吉田常任理事、高齢者部会議員に吉見常任理事、自殺未遂者・遺族部会議員に嶋本理事を、引き続き推薦することが承認された。

④宮崎県循環器病対策推進協議会委員の推薦及び就任について

→県循環器病対策推進計画の策定、進捗管理、評価等を協議するために設置される委員会の任期満了による委員の推薦依頼があり、引き続き玉置常任理事を推薦することが承認された。

⑤宮崎県周産期医療協議会委員の推薦及び就任について

→周産期医療体制の整備や諸課題について協議をする委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県産婦人科医会長と県小児科医会長のあて職のため、それぞれ医会の了解を得たうえで推薦することが承認された。

3. 業務委託について

①令和7年度自殺対策に係る人材育成研修業務の委託契約について

→自殺のハイリスク要因であるうつ病や自殺未遂等について医師や医療従事者

を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和7年度家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業の委託契約について

→思いがけない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの作成等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和7年度生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について

→特定健診や胃・子宮・肺・乳・大腸がん検診に従事する医療関係者の資質向上を図るための研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

④令和7年度糖尿病発症予防及び糖尿病性腎症重症化予防研修事業に係る業務の委託契約について

→糖尿病の診断および治療の方針を定める医師を対象とした研修会を開催し、糖尿病連携手帳の活用や二次医療圏ごとの多職種連携体制を構築する事業で、委託契約を締結することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①10/18(土) (KITEN)「目の健康講座」ご後援(名義使用)許可のお願いについて

→県眼科医会が主催する市民向けの公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

5. 7/26(土) (佐賀)九州医師会連合会第423回常任委員会の開催について

河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

6. 10/13(月・祝) (日医) 診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修の開催について

診療所の新興感染症への対応力を一層高める取り組みの一環として開催される研修会で、金丸副会長、嶋本常任理事、落合常任理事が出席することが承認された。

7. 令和7年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立学校の学校医報酬について県教育庁から基準額の提示があり、提示額通り承認された。

8. 11/22(土) (神奈川) 全国学校保健・学校医大会の事前参加登録について

神奈川県で開催される全国学校保健・学校医大会について、河野会長、小牧副会長、高木常任理事が出席すること、また、

眼科医会、耳鼻咽喉科医会、各郡市医師会に案内することが承認された。

9. 第32回全国医師会共同利用施設総会の開催日程について

令和9年度に本県担当で開催する全国医師会共同利用施設総会について、9月11日(土)・12日(日)の2日間、シーガイアコンベンションセンターで開催することが承認された。

10. 10/8(水) (日医) 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会の開催について

医師会組織強化について各地域における具体的な取り組みを後押しする契機となることを目的に開催される協議会で、大塚常任理事と事務局が出席することが承認された。

11. 7・8月の行事予定について

(報告事項)

1. 6/12(木) (県企業局) 県移植推進財団評議員会について

2. 6/15(日)全国有床診療所協議会理事会・常任執行委員会について

3. 6/18(水) (宮大) 宮大経営協議会について

4. 6/18(水) (日向) 日向市東臼杵郡医師会との意見交換会について

5. 6/22(日) (日医) 日医定例代議員会について

6. 6/11(水)・23(月) (県医) 広報委員会について

7. 6/19(木)日医広報委員会について

8. 6/14(土) (県医) 県医師会定例代議員会・総会について

9. 6/19(木) (アートホテル) 病院部会・医療法人部会定時総会について

10. 6/11(水) (宮大医学部) 宮大医学部地域枠全体ミーティングについて

11. 6/24(火) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

12. 6/21(土)・22(日) (北海道) 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について

13. 6/4(水)日医公衆衛生委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 令和8年度国・県に対する政策・予算等要望について

担当役員を中心に作成した要望を提出することとなった。また、7月25日(金)に行われるヒアリングについては河野委員長、小牧・金丸常任執行委員が出席することが承認された。

2. 長峯誠参議院議員 必勝祈願祭・出陣式のご案内について

事務局が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 6/17(火)日医連拡大選挙対策会議について

県 医 の 動 き

(7月)

1	県歯科保健推進協議会（吉見常任理事） 第7回全理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会 （会長他）	16	宮崎大学医学部講義「地域社会と医療」 （大塚常任理事） （日医）日医地域医療対策委員会（金丸副会長） 支払基金審査運営協議会（会長） （日南市）南那珂医師会との意見交換会（会長他）
3	長峯誠必勝祈願祭・出陣式 全国医師会産業医部会連絡協議会（Web会議） （池井常任理事他） 県総合計画審議会（金丸副会長） （小林市）社会保険医療担当者の個別指導 （玉置常任理事） （日医）日医医業経営検討委員会（吉田常任理事） 医師国保組合理事会（秦理事長他）	17	女性医師等保育支援サービスシステム事業サ ポート会員養成講座（荒木常任理事他） 宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 （大塚常任理事） 医師国保組合通常組合会（Web会議）（秦理事長他）
5	（福岡）九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 （市来常任理事他） （福岡）九医連常任委員会（会長） （福岡）九州医連連絡会常任執行委員会（委員長）	18	健康教育委員会（Web会議）（小牧副会長他） 県内科医会理事会（金丸副会長他）
6	（福岡）九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 （市来常任理事他）	19	（秋田）全国有床診療所協議会総会・講演会（会長）
7	県糖尿病対策推進会議幹事会（会長他）	20	（秋田）全国有床診療所協議会講演会
8	都道府県医師連盟・郡市区医師連盟 日医連拡 大選挙対策会議（Web会議）（河野委員長） 県内科医会医療保険委員会（玉置常任理事） 県医師連盟選挙対策本部及び実務者会議 （Web会議）（河野委員長他）	23	（日医）日医有床診療所委員会（会長） 広報委員会（荒木常任理事他）
9	女性医師等保育支援サービスシステム事業サ ポート会員養成講座（荒木常任理事） 日医救急災害医療対策委員会（Web会議） （落合常任理事） 県難病対策協議会（玉置常任理事） 健康スポーツ医学委員会（Web会議） （小牧副会長他）	24	県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 （吉見常任理事） 社会保険医療担当者の新規個別指導（高木常任理事） 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会（大塚常任理事） 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会（玉置常任理事）
10	県産婦人科医会常任理事会（嶋本常任理事他） 臨床検査精度管理調査実行委員会（Web会議）	25	自民党県連 国・県に対する政策・予算等要望 ヒアリング（会長他） 自民党県連政策懇談会（会長他）
11	県地方独立行政法人評価委員会（小牧副会長） 勤務医部会会計監査 勤務医部会理事会（嶋本常任理事他）	26	（佐賀）九州学校検診協議会専門委員会 （高木常任理事） （埼玉）日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 （上山理事） 日医未来医師会ビジョン委員会（Web会議） （大塚常任理事） （佐賀）九医連常任委員会（会長） （佐賀）九州学校検診協議会役員会（会長他） （佐賀）九州各県医師会学校保健担当理事者会 （会長他）
12	県外科医会理事会 県外科医会総会 県専門研修プログラム合同説明会（大塚常任理事） 県整形外科医会評議員会 県整形外科医会総会 労災部会総会 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会	27	（佐賀）九州ブロック学校保健・学校医大会/九 州学校検診協議会（会長他） （埼玉）日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 （上山理事） （佐賀）九医連学校医会評議員会（会長他）
13	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	29	県自殺対策推進協議会（吉田常任理事） 県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医師協理事会（Web会議）（河野理事長他） 医師協理事・運営委員合同協議会（Web会議） （河野理事長他） 第8回全理事協議会（Web会議）（会長他）
14	広報委員会（荒木常任理事他）	30	労災診療指導委員会・労災部会理事会 （赤須常任理事他）
15	県医師連盟選挙対策本部及び実務者会議 （Web会議）（河野委員長他） 第3回常任理事協議会（会長他）	31	（日医）日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 （峰松理事） 宮崎大学・宮崎大学医学部附属病院連携病院 病院長・理事長会議（金丸副会長他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和7年7月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整 形 外 科	2	2	0
放 射 線 科	1	0	1
総 合 診 療 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 107人

	合 計
令和7年度(4/1～7/1)	3
平成16年度から累計	107

3. 求人登録 108件 299人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	93	69	24	消 化 器 外 科	5	3	2
外 科	21	18	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	18	15	3	健 診	3	3	0
精 神 科	13	12	1	泌 尿 器 科	4	3	1
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	14	11	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	22	17	5	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	5	5	0	婦 人 科	0	0	0
眼 科	10	6	4	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リウマチ科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	4	3	1	形 成 外 科	0	0	0
総合診療科・内科	13	8	5	診 療 科 目 不 問	9	4	5
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	12	8	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	5	3	2
救 命 救 急 科	7	5	2	合 計	299	225	74

求人登録者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整(いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のぎクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230240	医)順養会 海老原病院	国富町	内	1	常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団権の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外(いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内,消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整(いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和7年7月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)
	② 西都市中央町2丁目6番地 所有者：西都市西児湯医師会員 函師医院跡 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 所有者：(医) 社団 隆豊 江崎医院跡 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)
	④ 日向市財光寺615 所有者：日向市東臼杵郡医師会員 吉田クリニック 土地：1,704.79㎡ (515.70坪) 建物：鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり (16台)
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 所有者：延岡市医師会員 (医) 社団 戸島クリニック 土地：893.18㎡ (270.19坪) 建物：木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり (15台)
2. 賃貸物件又は	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 所有者：都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院 土地：614.18㎡ (186.11坪) 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は、2階, 3階 (グループホームやすらぎ)
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 所有者：宮崎市郡医師会員 (医) 健心会 滝口内科医院 (旧) のぞみ医院跡 土地：750.44㎡ (227.40坪) 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台)

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoun@mizakaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮崎県医師会行事予定表

令和7年7月30日

8		月			
1	金	13:30 (東京) 全国医師国保組合連合会代表者会 18:30 県外科医会夏期講演会 (Web会議) 19:00 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議打合せ会	21 木	13:00 (高千穂町) 社会保険医療担当者の新規個別指導 14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 18:45 学校医部会総会・医学会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	↑
2	土	9:00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 16:00 (福岡) 九医国保連将来問題検討委員会 16:00 組織強化・将来構想委員会小委員会	22 金	19:00 広報委員会	
3	日		23 土	14:30 産業医研修会 (前期) 16:00 (福岡) 九医連常任委員会 17:00 (福岡) 九医連定例委員総会 18:00 (福岡) 九州医連連絡会執行委員会	↓
4	月	13:30 県地方独立行政法人評価委員会 19:00 損保ジャパンとの懇談会		9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 9:00 中四九地区医師会看護学校協議会 (Web会議)	
5	火	9:00 公益法人立入検査 19:00 第4回常任理事協議会	24 日	13:30 県国民健康保険運営協議会 19:00 男女共同参画委員会 (Web会議)	社 保 審 査
6	水	14:00 宮崎東諸県地域医療構想調整会議 19:00 周産期医療ネットワークシステム機器更新にかかる説明会 (Web会議)		18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医師協理事会 18:30 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第10回全理事協議会 19:00 役員員懇談会	
7	木	10:00 県総合計画審議会 18:30 勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議)	25 月	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 18:00 県医療介護推進協議会地域リハビリテーション支援体制検討部会	↑
8	金	19:00 県有床診療所協議会総会・講演会 (Web会議) 20:00 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会引継会 (Web会議)	26 火	17:00 地域医療対策協議会プログラム運用部会 18:00 地域医療対策協議会 19:00 第1回医師の働き方改革Web研修会 (Web会議) 19:30 県との妊婦健診等に関する協議会	
9	土		27 水	17:00 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 (Web会議) 19:00 医師国保組合理事会	↓
10	日			12:45 (群馬) 全国医師会共同利用施設総会関係者打合せ会 14:00 (群馬) 全国医師会共同利用施設総会 14:00 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会 (Web会議)	
11	月	(山の日)	28 木	9:30 (群馬) 全国医師会共同利用施設総会	国 保 審 査
12	火				
13	水		29 金		↑
14	木				
15	金		30 土		↓
16	土	14:00 県小児科医会子ども健康セミナー (Web会議)			
17	日		31 日		↑
18	月				
19	火	19:00 第9回全理事協議会 (Web会議)			↓
20	水	15:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (Web会議) 16:00 支払基金審査運営協議会 18:45 在宅医療協議会総会・研修会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会医療保険委員会 (Web会議)			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年7月30日

9		月					
1	月	19:00	医学会誌編集委員会 (Web会議)				
2	火	19:00	第5回常任理事協議会	18	木	15:00 (日医) 日医有床診療所委員会 19:00 土曜会 (報道機関支局長の会) との懇談会	
3	水	15:00 (日医) 日医地域医療対策委員会 19:00 県産婦人科医会献金委員会 (Web会議)		19	金	19:00 未来の医療を語るオールみやざき交流会	↑
4	木	14:30 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 16:30 県立病院事業評価委員会		20	土	12:30 保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会 14:30 産業医研修会 (前期) 15:00 県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会 (Web会議)	↑
5	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議)		21	日		国保審査
6	土	15:30 (佐賀) 九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会 15:30 県医師会医学会 (Web会議)		22	月		
7	日			23	火	(秋分の日)	↑
8	月	19:00	広報委員会勉強会	24	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 18:00 医師クランク育成・スキルアップ研修会 (Web会議) 19:00 広報委員会	↓
9	火	19:00	組織強化・将来構想委員会小委員会				
10	水						
11	木	19:00	県産婦人科医会常任理事会	25	木	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	社保審査
12	金	19:00	広報委員会				
13	土	14:00 (沖縄) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議 14:30 産業医研修会 (実地) 16:00 (長崎) 全国国保組合協会九州支部総会		26	金		
14	日			27	土	14:00 (福岡) 九医連勤務医連絡協議会 15:30 (福岡) 九医連常任委員会 16:00 (福岡) 九医連連絡協議会	
15	月		(敬老の日)	28	日		↓
16	火	19:00	第11回全理事協議会 (Web会議)	29	月	18:45 園医部会総会・研修会 (Web会議)	
17	水	16:00	支払基金審査運営協議会	30	火	18:30 医師協理事会 19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第12回全理事協議会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

**作品
募集中**

生命

いのち

第9回

を見つめる

フォト&エッセー

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

応募締め切り
**2025年
10月3日(金)**
必着



フォト部門

生命の尊さを感じさせる、
あるいは生命の輝く瞬間を
とらえた作品を募集します。

最高賞金 **10** 万円

審査員 (順不同、敬称略)		
		
熊切大輔 日本写真家協会会長	岩合光昭 動物写真家 ©Machi Isago	奈緒 俳優

エッセー部門

医師や看護師との交流、ご
家族の介護や生命の誕生に
まつわる話などを募集します。

最高賞金 **30** 万円

審査員 (順不同、敬称略)		
		
養老孟司 東京大学名誉教授 /解剖学者	玄侑宗久 作家 / 福沢寺住職	水野真紀 俳優

公式ホームページ <https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/> **生命を見つめるフォト&エッセー 検索**

主催: 日本医師会、読売新聞社 後援: 厚生労働省、文部科学省 協賛: 東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



フォト部門



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2022年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 東京海上日動賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……賞金 5万円・賞状他



小中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 5千円分・賞状他

エッセー部門



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」なども可)。

また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。

小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

- 【一般の部・中高生の部】 ……2,000字(原稿用紙1~5枚)以内
- 【小学生高学年の部(4~6年生)】 ……1,200字(原稿用紙1~3枚)以内
- 【小学生低学年の部(1~3年生)】 ……800字(原稿用紙1~2枚)以内
- 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 東京海上日動あんしん生命賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……賞金 10万円・賞状他



中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 5千円分・賞状他



小学生高学年の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 1万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 5千円分・賞状他



小学生低学年の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 5千円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 3千円分・賞状他

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。盗作・二重応募・類似・事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2026年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトに、作品と実名・年齢・顔写真・学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2026年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

応募方法

- ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)・ボールペン・万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- 郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



公式ホームページQRコード

お問い合わせ 読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局
TEL:03-3216-8598 (平日10:00~17:00)

作品送付先: 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募用紙

- フォト部門 一般の部
- フォト部門 小中高生の部
- エッセー部門 一般の部
- エッセー部門 中高生の部
- エッセー部門 小学生高学年の部(4~6年生)
- エッセー部門 小学生低学年の部(1~3年生)

フリガナ	氏名		
都道府県	年齢		
西暦	年 月 日 生 歳		
@	Tel () -		
職業(学校名)			
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影場所	撮影機材
202	年 月 日		
確認の上 チェックを 入れてください	<input type="checkbox"/> この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません <input type="checkbox"/> この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません <input type="checkbox"/> 入賞作品は、主催者・協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名・年齢・作品・顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します <input type="checkbox"/> (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません		
応募の きつかけ	[1]チラシ(どこで:) [2]学校(小・中・高・大・専門) [3]読売新聞紙面 [4]公式ホームページ [5]日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE 公式アカウント) [6]公募サイト(サイト名:) [7]その他(具体的に)		

応募締め切り
2025年
10月3日(金)
必着

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。
エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも入賞作品について、読売新聞紙上及びその他
広報物に使用する権利は、主催者が有します。

※氏名は実名のみ受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
令和7年度宮崎県 医師会勤務医部会 総会・前期講演会 (Web講習会) 8月7日(木) 18:30~20:40 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	悪性脳腫瘍の診断と集学的治療 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 教授 沖田 典子	1 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会勤務医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	南海トラフ巨大地震に備え，より多くの人を救い，その命を守るための提言 宮崎県陸修偕行社 会長 川崎 朗	14 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(木) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	化学物質管理者制度と産業医 ~化学物質の性状に関連の強い労働災害~ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度宮崎県 有床診療所協議会 総会・講演会 (Web講習会) 8月8日(金) 19:00~20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	有床診療所今後の課題と対策 日本医師会 常任理事 松岡 かおり	12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県有床診療所協議会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 8月8日(金) 19:00~20:00 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	認知症周辺症状の現状と薬物療法 野崎病院 倉増 亜紀	29 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 大塚製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 8月13日(水) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県内科医会学 術講演会～感染症 予防セミナー～ (Web講習会) 8月20日(水) 18:20~19:30 MeijiSeikaファル マ(株)会議室 ※受講はWebのみ	ワクチンに関する最近の話題 ～COVID-19とインフルエンザを中心に～ 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	11 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※Meiji Seikaファルマ(株) ☎0985-25-6215
宮崎県医師会産業 医研修会 8月20日(水) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会在宅 医療協議会令和7 年度総会・研修会 (Web講習会) 8月20日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	災害時における医師会の縦の連携と、各層での横の連 携の重要性 ～令和6年能登半島地震を経験して～ 日本医師会 常任理事 佐原 博之	14 (1.5)	◇主催 宮崎県医師会在宅医療協議会 (連絡先) 宮崎県在宅医療協議会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
第253回宮崎県泌尿器科医会および残暑納涼会 8月21日(木) 19:00~19:30 いごちや「あんばい」3階大宴会場 参加費:10,000円	臨床研究・治験の現状(仮) 宮崎大学医学部 泌尿器科 教授 賀本 敏行 他	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968
第20回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会(Web講習会) 8月21日(木) 19:00~20:30 宮崎市郡医師会館1階講堂 ※受講は現地またはWeb	緩和ケア医からみた『希望』と『傾聴』 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア内科 部長 内藤 明美	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会(連絡先) 宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
第62回宮崎救急医学会 8月23日(土) 14:40~15:40 千代田病院 参加費:1,000円	南海トラフ巨大地震から宮崎の医療を守る! 宮崎大学医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学分野 教授 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター長 落合 秀信	14 (1.0)	◇主催 宮崎救急医学会 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会 日向市東臼杵郡医師会内科医会(連絡先) 千代田病院 ☎0982-52-7111
第196回宮崎心臓病研究会(Web講習会) 8月25日(月) 19:00~20:00 KITENビル中会議室 ※受講は現地またはWeb	今週公表! 高血圧治療ガイドライン2025を日常診療に活かす ヨコクラ病院 総合診療部 部長 甲斐 久史	74 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)(連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
宮崎県内科医会学術 講演会COVID-19セ ミナーin宮崎 (Web講習会) 8月26日(火) 19:00~20:00 ホテルJALシティ 宮崎2階オルソ ※受講は現地また はWeb	COVID-19に対する抗ウイルス薬投与の意義 ～新型コロナウイルス感染症診療指針～ 長崎大学 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学 准教授 長崎大学病院 呼吸器内科 高園 貴弘 他	8 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ファイザー(株) ☎090-4225-7843
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(水) 14:00~16:00 宮崎県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
骨粗鬆症治療 update (Web講習会) 8月27日(水) 19:00~20:00 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」 ※受講は現地また はWeb 参加費：1,000円	骨密度と骨質の向上を目指した骨粗鬆症治療とは ～ガイドライン改訂をふまえて～ 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 齋藤 充	77 (1.0)	◇主催 宮崎県整形外科医会 ◇共催 アムジェン(株) ※アステラス製薬(株) ☎080-1310-6167
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	今日のうつ病の現状と対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
令和7年度宮崎県 プライマリ・ケア 研究会研修会 (Web講習会) 8月30日(土) 14:00~15:30 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	災害は誰かの問題ではない ～能登半島地震の現場から見た支援と絆の力～ 宮崎大学医学部 看護学科 生活・基盤看護科学講座 地域・在宅看護学領域 教授 板谷 智也	14 (1.0)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第36回宮崎県糖尿病教育セミナー 9月7日(日) 9:55~16:45 延岡市中小企業振興センター5階会議室1 参加費:3,000円	足病変を防ぐ+α 看護師としてできること ～足だけじゃないフットケア～ 平和台病院 糖尿病看護認定看護師 柞木 里美	82 (1.0)	◇主催 ※宮崎県糖尿病懇話会 ☎0985-22-8015 ◇共催 宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構 ノボノルディスクファーマ(株) ◇後援 宮崎県医師会 延岡市医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県栄養士会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県糖尿病対策推進会議
	心不全予防としての糖尿病早期介入の重要性 県立延岡病院 循環器内科 主任部長 心臓脳血管センター長 山本 展誉	73 (1.0)	
	糖尿病の食事療法～患者さんの疑問あれこれ～ 延岡市医師会病院 栄養管理室 管理栄養士 牧野 日香里	76 (0.5)	
	糖尿病に関して起こる皮膚病病変 県立延岡病院 皮膚科 医師 後田 優香	76 (0.5)	
	運動療法 ハードルを下げる声かけのヒント 193work代表 健康運動指導士・宮崎地域糖尿病療養指導士 重水 いくみ	82 (0.5)	
	DKD栄養管理のポイント～管理栄養士の視点から～ 県立延岡病院 栄養管理科 管理栄養士 崎田 栞	76 (0.5)	
	糖尿病と歯周病との関係 update 北浦歯科医院 院長 林 正太郎	76 (0.5)	
	明日から外来で活かす! 薬剤師が行う糖尿病療養支援の確認ポイント 延岡市医師会病院 薬剤科 薬局長 三代 朗子	82 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
いろはに漢方 (Web講習会) 9月10日(水) 19:00~20:00 宮崎県医師会館 ※受講はWebのみ	まずは虚実について 風邪に葛根湯で満足ですか? ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文	83 (1.0)	◇主催 東洋医学会 ◇共催 ※クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 9月12日(金) 19:00~20:00 西諸医師会館大会 議室	循環器診療 update 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 准教授 松浦 祐之介	12 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会
令和7年度宮崎県 産婦人科医会・宮 崎県産科婦人科学 会市民公開講座・ 秋期定時総会・学 術講演会 (Web講習会) 9月20日(土) 15:00~18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	産科出血への対応 順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 教授 牧野 真太郎	10 (1.0)	◇主催 宮崎県産婦人科医会 ◇共催 宮崎県産科婦人科学会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
令和7年度第3回 宮崎県緩和ケア研 修会 9月27日(土) 9:00~17:30 都城医療センター 外来管理棟2階大 会議室	コミュニケーション 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 緩和ケアセンター精神症状緩和医師 船橋 英樹	4 (1.5)	◇主催 ※都城医療センター ☎0986-23-4111
	全人的苦痛に対する緩和ケア 都城医療センター 放射線科 医長 新村 耕平	81 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 助教 緩和ケアセンター長 山賀 昌治	12 (1.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
令和7年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大 腸がん検診研修会) (Web講習会・TV 会議) 10月2日(木) 19:00~21:00 宮崎県医師会館ま たはZoomウェビ ナー及びTV会議 8会場 (都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那 珂, 西諸, 西臼杵)	肺がん検診について(仮) 宮崎大学医学部附属病院 放射線科 講師 中田 博	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がん検診について(仮) 宮崎江南病院 院長 白尾 一定	11 (0.5) (乳)	
	胃がん検診について(仮) 潤和会記念病院 消化器科 部長 宮崎 貴浩	12 (0.5) (胃)	
	大腸がん検診について(仮) 古賀総合病院 消化器内科 部長 田井 博	82 (0.5) (大腸)	
令和7年度依存症 地域対策支援事業 依存症支援者研修 会 10月4日(土) 13:00~17:00 延岡市社会教育セ ンター1階会議室	やめさせたら依存症は治るのか? ~相手をわかろうとすること~ 国立病院機構さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之	5 (1.0)	◇主催 宮崎県障がい福祉 課(吉田病院受託) (連絡先) 吉田病院 ☎0982-37-0126
	問題解決しない事例検討会の理念 全国の活動と宮崎県の取り組み 問題解決しない事例検討会 国立病院機構さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之	5 (3.0)	
宮崎CKD連携セミ ナー (Web講習会) 10月16日(木) 19:00~20:15 KITENビル ※受講は現地また はWeb	CKDはLTEP(Long term eGFR plot)で診る時代 ~フォシーガ適応症例早期発見の重要性~ 市立大津市民病院 内科部長(腎臓内科部門)/血液浄化部 診療部長 中澤 純	19 (1.0)	◇主催 宮崎県透析医会 ◇共催 アストラゼネカ(株) 小野薬品工業(株) ◇後援 宮崎県薬剤師会 宮崎県医師会 (連絡先) 小野薬品工業(株)九州 沖縄支店宮崎営業所 ☎080-2472-0479

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
第73回宮崎県スポーツ学会 10月18日(土) 15:00~18:30 宮崎県医師会館 参加費:1,000円	ハイパフォーマンススポーツセンター栄養グループの取り組み 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部門 副主任研究員 元永 恵子 日医認定健康スポーツ医学再研修会:1単位	21 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	野球の投球動作におけるバイオメカニクスの評価とトレーニング 帝京大学 スポーツ医科学センター 講師 大川 靖晃 日医認定健康スポーツ医学再研修会:1単位	61 (1.0)	
	アスリートをどう支えるか? 予防・PRP・現場連携の実際と課題 順天堂大学 整形外科 准教授 運動器再生医学講座 特任教授 齋田 良知 日医認定健康スポーツ医学再研修会:1単位	10 (1.0)	

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流(会員交流用)」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的: 県医師会から会員への情報提供(各種通知文書, 研修会の案内など)

対象: 会員本人, 医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的: 会員同士の意見交換, 会員からの情報提供

対象: 会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し, 事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合, 情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先: 宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

医師年金 <認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会 ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

保険料はいつでも自由に増減できます!

☑ 年金検討チェックリスト

- 公的年金だけでは現役時代の生活水準の維持が難しい
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい

余裕資金を随時払って上限なく増額できます

予定利率は1.5% (令和7年4月現在)

1つでも該当したら…

事務手数料は払込保険料に対して0.25%だけです

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、簡単シミュレーション!



医師年金 検索

<https://nenkin.med.or.jp>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人 **日本医師会 年金福祉課**

TEL : 03-3942-6487 (直通)
 FAX : 03-3942-6503
 受付時間 : 午前9時30分～午後5時 (平日)
 E-mail : nenkin@po.med.or.jp

The screenshot displays the '医師年金' (Doctor's Pension) simulation interface. It features a sidebar with input fields for '加入年齢' (Age 31), '加入料' (Monthly 12,000), and '払込額' (15,400,000). The main area shows three plan options: '15年固定型年金' (15-year fixed pension), '15年増額型年金' (15-year increasing pension), and '15年複利型年金' (15-year compound interest pension). Each option includes a timeline, a table of monthly payments (加入料, 基本年金, 受取年金), and a total accumulated amount (15年受取年金総額).

診療メモ

アトピー性皮膚炎
について

宮崎市 いきめ皮膚科 帖 佐 宣 昭

アトピー性皮膚炎について、アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024（日皮会誌：134（11），2741-2843，2024）を参考に、私見を交えて記載させていただきます。

【定義・疾患概念】アトピー性皮膚炎（atopic dermatitis：以下AD）は、増悪と軽快を繰り返す、掻痒のある湿疹を主病変とする疾患であり、患者さん（以下Pt）の多くはアトピー素因を持ちます。

【病態生理】ADは多病因性の疾患です。その中で、皮膚バリア機能障害、アレルギー炎症（Th2）、痒みの3つが三位一体となって、ADの発症に関与しているとの報告があります（Kabashima K. J Dermatol Sci 2013）。

【診断基準】表1が日本皮膚科学会による「アトピー性皮膚炎の定義・診断基準」です。1）掻痒、2）特徴的皮疹と分布、3）慢性・反復性経過の3基本項目を満たすものを、症状の軽重を問わずADと診断します。診断基準は非特異的なものにみえますが、鑑別疾患を確実に行うことが必要です。特に皮膚科以外の先生方には馴染みのない皮膚リンパ腫の菌状肉腫やSézary症候群、そして宮崎に多い成人T細胞性白血病リンパ腫の紅皮症型の鑑別が必須です。また膠原病（特にSLEや皮膚筋炎）の鑑別も必要です。これらの鑑別のために、皮膚生検を要することもあります。

【重症度評価法】（1）医師による評価として、SCORAD、EASIなどがあります。（2）Ptによる評価として、NRSやDLQI、POEM、ADCTなどがあります。

【診断や重症度の参考になるバイオマーカー】血清IgE値、末梢血好酸球数、血清LDH値、血清TARC値、血清SCCA2値（小児（15歳以下）で保険適応）があります。

【治療方法】図1にADの診断治療アルゴリズムを示します。ADの治療において最も大切なことは、PtとともにADの状態（症状、重症度）を正しく理解・評価し、治療のゴールを共有することです。近年、図1のように、ADではステロイド以外の治療薬（外用薬、内服薬、生物学的（bio）製剤）が次々と発売され、小児から成人まで、いろいろな治療の選択肢が広がってきました。一方で、新規治療薬（特にbio製剤、経口JAK阻害剤）はいずれも高額で、誰もが治療を受けることは難しい状況です。新規全身治療薬が登場してきて、ADの治療の基本はやはり原因除去、生活指導、スキンケア、そのうえでの外用治療です。皮膚の状

表1 アトピー性皮膚炎の定義・診断基準
（日本皮膚科学会）

アトピー性皮膚炎の定義（概念）

アトピー性皮膚炎は、増悪と軽快を繰り返す、掻痒のある湿疹を主病変とする疾患であり、患者の多くはアトピー素因を持つ。

アトピー素因：①家族歴・既往歴（気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎、アトピー性皮膚炎のうちいずれか、あるいは複数の疾患）、または②IgE抗体を産生しやすい素因。

アトピー性皮膚炎の診断基準

1. 掻痒

2. 特徴的皮疹と分布

①皮疹は湿疹病変

・急性病変：紅斑、湿潤性紅斑、丘疹、漿液性丘疹、鱗屑、痂皮

・慢性病変：浸潤性紅斑・苔癬化病変、痒疹、鱗屑、痂皮

②分布

・左右対側性

好発部位：前額、眼囲、口囲、口唇、耳介周囲、頸部、四肢関節部、体幹

・参考となる年齢による特徴

乳児期：頭、顔にはじまりしばしば体幹、四肢に下降。

幼小児期：頸部、四肢関節部の病変。

思春期・成人期：上半身（頭、頸、胸、背）に皮疹が強い傾向。

3. 慢性・反復性経過（しばしば新旧の皮疹が混在する）

：乳児では2カ月以上、その他では6カ月以上を慢性とする。

上記1、2、および3の項目を満たすものを、症状の軽重を問わずアトピー性皮膚炎と診断する。そのほかは急性あるいは慢性的の湿疹とし、年齢や経過を参考にして診断する。

除外すべき診断（合併することはある）

・接触皮膚炎・手湿疹（アトピー性皮膚炎以外の手湿疹を除外するため）

・脂漏性皮膚炎・皮膚リンパ腫

・単純性痒疹・乾癬

・疥癬・免疫不全による疾患

・汗疹・膠原病（SLE、皮膚筋炎）

・魚鱗癬・ネザートン症候群

・皮脂欠乏性湿疹

診断の参考項目

・家族歴（気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎、アトピー性皮膚炎）

・合併症（気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎）

・毛孔一致性の丘疹による鳥肌様皮膚

・血清総IgE値の上昇

臨床型（幼小児期以降）

・四肢屈側型・痒疹型

・四肢伸側型・全身型

・小児乾燥型・これらが混在する症例も多い

・頭・頸・上胸・背型

重要な合併症

・眼症状（白内障、網膜剥離など）とくに顔面の重症例

・伝染性軟肉腫・伝染性膿痂疹

・カポジ水痘様発疹症

佐伯秀久，大矢幸弘，古田淳一ほか：アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021，日皮会誌，2021；131：2691-2777。より転載。

態を正しく評価し、いろいろある治療の選択肢の中から、どの治療がPtの現状に適しているのかPtとよく相談し、一緒に考え方針を決定し、実行していく必要があります（shared decision making）。治療経過では、まず速やかに寛解導入すること、そして寛解を維持することが大切です。

【悪化因子の検索・生活指導】まず悪化因子の検索を行うことが必要です。また、生活指導・アドバイスが必要です。

【薬物療法】以下に列挙いたします。

(1) 適切な皮膚の洗い方、そのうえでの皮膚の保湿剤（ヘパリン類似物質含有製剤など）、保護剤（ワセリンなど）の塗り方の指導が必要です。

(2) 抗炎症外用薬

a) ステロイド外用薬：症状や部位、年齢などに応じて、ランク、基剤などを選びます。

b) タクロリムス：カルシニューリン阻害剤

c) デルゴシチニブ：ヤヌキナーゼ（JAK）阻害剤

d) ジファミラスト：ホスホジエステラーゼ4阻害剤

b)～d)はそれぞれ小児用、成人用があり、小児用は使用開始可能年齢がそれぞれ異なります。

e) タピナロフ：AhR (aryl hydrocarbon receptor, 芳香族炭化水素受容体)の活性化を介してアトピー性皮膚炎および尋常性乾癬の症状を改善する治療用AhR調節薬

* finger-tip unit (FTU) について：外用治療では、必要十分な量を外用することが大切です。一つの目安として、第2指の先端から第1関節部まで口径5 mmのチューブから押し出された量（約0.5g）が、英国成人の手掌で2枚分すなわち成人の体表面積のおよそ2%に対する適量

であることが示されています（1 FTU≒成人の手2枚分）。

* プロアクティブ療法：急性期の治療によって寛解導入した後に、保湿外用薬によるスキンケアに加え、ステロイドやタクロリムス外用薬を間歇的に（週2回など）塗布し、寛解状態を維持する治療法が有用とされています。

(3) 抗炎症内服薬

a) シクロスポリン

b) 経口JAK阻害剤（バリシチニブ、ウパダシチニブ、アプロシチニブ）

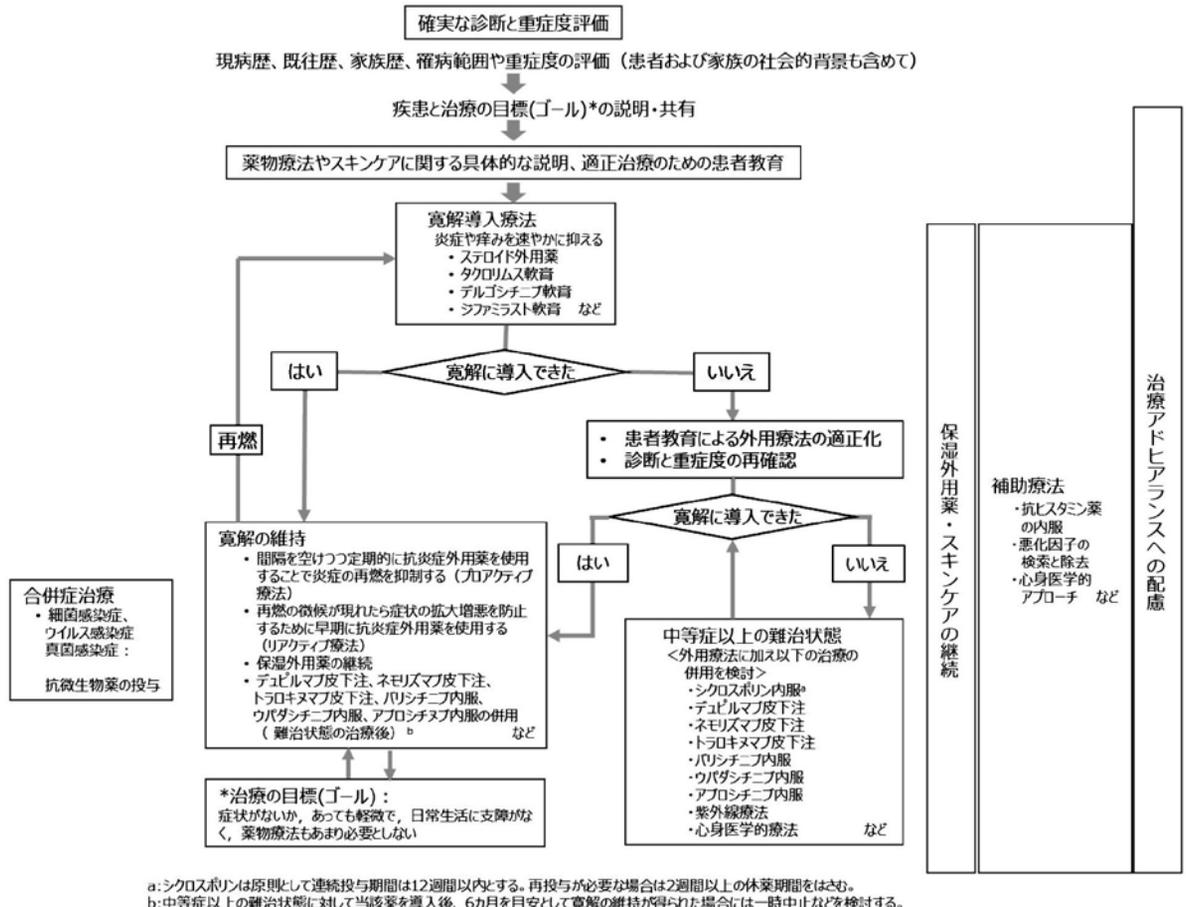
c) 経口ステロイド薬：長期間コントロールする治療法としては推奨されず、投与するとしても短期間にとどめるべきとされています。

(4) bio製剤

a) デュピルマブ：ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体

b) トラロキヌマブ：ヒト抗ヒトIL-13モノクローナル抗体

c) レプリキズマブ：抗ヒトIL-13モノクローナル抗体外用薬、内服薬、bio製剤のいずれも、小児のAD患者さんにも使用できるようになってきました。食物アレルギーなどとの鑑別を含め、小児科の先生方やアレルギー専門施設との連携がますます大切になってきていると感じております。



a:シクロスポリンは原則として連続投与期間は12週間以内とする。再投与が必要な場合は2週間以上の休薬期間をはさむ。
b:中等症以上の難治状態に対して当該薬を導入後、6か月を目安として寛解の維持が得られた場合には一時中止などを検討する。

図1 アトピー性皮膚炎の診断治療アルゴリズム

診療メモ



自験例を含む いわゆる「独居死」についての小考察

宮崎市 中山医院 なか やま 中山 けん 健

近年我が国においては少子化や核家族化と相まって、とくに高齢者のいわゆる「独居死」の事例が増加しております。

独居死は孤独死と孤立死に分けられますが政府は昨年4月の孤独・孤立対策推進法の成立を受けて同6月、悩みや困りごとが深刻化する前に地域住民が担い手として支える「つながりサポーター」の育成促進を柱とした重点計画を策定しました。そして死後8日以上経過して発見されたケースを生前に社会的に孤立していたと強く推量されるとして孤立死と位置付けました。自殺も含めております。独居死の数は内閣府の推定によると昨年度は2万1,856人で、65歳以上が1万3,925人（64%）、性別では男性が1万7,364人（80%）だったそうです。本県では県警本部から昨年の検視総数は1,633人、独居死686人（42%）のうち孤立死は137人で65歳以上が107人（78%）であったと本年5月、県医師会主催の講演会で報告されました。私は現在宮崎市の一定区域での死体検案業務に携わっておりますが、自験例では昨年度の検案総数は189人、独居死113人（60%）のうち孤立死は36人で65歳以上が31人（86%）でした。

このような独居死の検案に際して最も心が痛

むのは遺体の死後変化の一つではありますが腐敗の発現です。周知のごとく腐敗は通常は細菌による蛋白質の分解をいいますが、死体では有機化合物が嫌氣的に分解され無機物に変化していく状態をいい腐敗細菌は主として初期では腸内細菌（大腸菌や腸球菌）、末期では枯草菌、馬鈴薯菌やウエルシュ菌です。腐敗の進行を左右する因子は個体側（栄養、血液量や着衣）や環境（温度、湿度や空気量）がありますが、「Casperの法則」（空气中：水中：土中＝1：2：3の進行程度）もよく知られております。外観上の変化は進行に従って腐敗臭・腐敗色→腐敗網→腐敗水疱・腐敗ガス→巨人化→ミイラ化→白骨化と変化しますが自験例では独居死113人中45人（40%）に腐敗の所見があり、うち30人（67%）が腐敗水疱・腐敗ガス以上の高度変化でした。これは故人の人としての尊厳にも関わることと思います。その意味でもご遺体の早期発見が必要ですが独居死、とくに孤立死の場合はそれが叶いません。これに関しては我々医療従事者もかかりつけ医の機能のさらなる強化や在宅医療の質のより向上を図ることがその一助になるのではないかと考えます。自験例でも、あるかかりつけ医が受診予定日に来院

がなかった患者さんを案じてご自宅を訪問し早めの発見につながった例がありました。ちなみに私は不審に思ったら安否確認を警察にお願いしております。

次に問題となるのは遺体の処置についてです。流れとしては警察が収容し身元の確認や事件性の有無などを調査し特に問題がなければ医師による検案で終了となりますが、遺体の引き取り手が見つからない場合も多々あります。自験例でも月余を要したケースがありました。最終的には故人の居住する市町村が墓地埋葬法などに基づき火葬や納骨を行うことになっていますが、昨今その数は増加しており国の委託調査によると一昨年は死亡全体の2.7%に当たる34万2,000件に上ったとのこと。このような状況下で急がれるのは自治体によって対応に大きなばらつきがあることへの是正です。警察から連絡を受けた後、引き取り手を探している段階で火葬を行うところや葬儀社に費用を払って長期間でも冷凍保存する自治体もある一方、警察で長く保管されるところもあるようで収容不能の事態も懸念されます。遺骨も無縁仏として合祀できるまで年単位で安置するところや保管場所がないとの理由で火葬後の収骨はしないところもあるようです。また故人の遺品の取扱いについても統一した手順を定めたマニュアルを持つ自治体は全国で約10%に留まっているそうです。このような悪しき状態に我が国がなっている理由は多くの先進国では自治体が墓地の提供や埋葬の法的義務を負っているのに対して我が国では遺体や遺品の帰属、火葬や納骨の担い手などを定めた包括的な法律がないことにあります。これには我が国の古来の社会慣習として

弔いは家族や地域住民によって営まれてきたことも背景にあると思われれます。私は宮崎市の生まれですが、幼いときの曾祖父の死去の際の記憶によれば我が家での家族と家庭医による看取り後は身内の者は静かに喪に服し、葬儀万端、野辺の送り（人力による棺の墓地までの搬送）や土葬による埋葬などすべてが近隣の方々の無償奉仕のもとに行われました。

本年5月、厚労省は身寄りのない独居の高齢者についての報告書をまとめ来年の通常国会で関連法の改正を目指すそうで、その内容は①金銭管理や福祉サービス手続きなどの日常生活支援 ②病院や施設に入る際の手続き支援 ③葬儀や納骨、遺品の整理など死亡後の事務手続き支援等を社会福祉事業と位置付け制度化する予定で、各地の社会福祉協議会などによる運営を想定しているようです。これが一日も早く完全実施されることを切望する次第です。

なお上述したごとく独居死は孤独死と孤立死を含みますが、孤立死を規定する「死後8日以上経過して発見されたケース」の状況はその確認が必ずしも容易ではないことを付記します。

稿を終えるに当たり、昼夜分かたず変死事案の処理に従事しておられる関係各位に深甚なる敬意を表します。

宮大医学部学生のページ



音楽祭実行委員長よりご報告

第22回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会 実行委員長 よこ やま み お
宮崎大学医学部 医学科4年 横 山 美 緒

このたび、令和7年6月21日、宮崎市民文化ホールにて第22回宮崎大学医学部音楽祭を開催いたしましたことをご報告申し上げます。週末の貴重なお時間を割いてご来場いただきました皆様、また日頃より本学学生の活動にご理解とご支援を賜っている地域の皆様に、実行委員会を代表して心より感謝申し上げます。

宮崎大学医学部音楽祭は、「音楽を通じて地域の方々と心を通わせたい」という学生の想いから誕生し、その原点は、かつての宮崎医科大学時代に遡ります。以降、時代が移り変わる中でも、学生たちにより毎年欠かさず開催され、今年で通算44回目という節目を迎えることができました。

今年は従来の会場を離れ、新たに宮崎市民文化ホールを舞台として開催いたしました。広々とした空間、整った舞台設備、そして新しい音の響き。こうした環境の変化に対応する中で、

実行委員一同が一丸となって準備に取り組みました。慣れない会場での開催で、いろいろ困難はありましたが、最終的にはこの場でしか味わえない特別な音の響きを、ご来場いただきました皆様にお届けできたのではないかと感じております。

この日の舞台には、すずかけ太鼓、室内楽部、管打楽器部、軽音楽部、アカペラサークルなど、総勢153名、計12の団体が登場しました。伝統的な和太鼓の長胴感あるリズムから、現代的なポップス、ボーカルによる温かな歌声、静謐なクラシックの響きまで、多彩な音楽が次々と繰り広げられる舞台となりました。どの団体も限られた時間の中で練習を重ね、音に想いを込めて舞台に臨んでいました。伝統と現代、静謐と躍動が交錯する中、音楽を通じて心を通わせる瞬間が何度も訪れたように思います。幕間には、今年の11月15日、16日に開催



すずかけ太鼓「大地の響き」の演奏の様子

される学祭の紹介や、今年度卒業する6年生による卒業生インタビュー企画も挟み、日頃の医学生の日常や大学の今をお伝えする機会となりました。多種多様なジャンルの演奏に、見どころたくさん舞台となり、ご来場いただいた多くの方に楽しんでいただけるようなプログラムになったのではないかと考えております。

今年も多くの地域の方々にご来場いただきました。年齢も、職業も、私たちとは異なるさまざまな方々が、同じ空間で音楽を聴き、同じ時間を共有してくださったことは、私たちにとって何よりの喜びです。音楽には、世代や立場を超えて人と人をつなぐ力があると、あらためて感じることができました。

今回の音楽祭のテーマは「^{そうきょう}想響」といたしました。「想いを音にのせて、響きを心に届けたい」という意味を込めて、参加団体や出演者の想いが、ただの演奏としてではなく、聴いてくださる皆様の心の中に静かに、あるいは力強く、響き渡るような音楽祭にしたいと願いました。音楽には、単に音を奏でるだけでなく、人

の心に寄り添い、感情や記憶に触れる力があると私たちは信じています。大学内や地元の飲食店に貼っていただく宣伝ポスターもこの音楽祭の魅力を最大限に伝えることができる素敵なものを作成していただきました。

当日は、ジャンルの異なる12団体が一堂に会し、ジャンルも編成も音の在り方もまったく異なる音楽がひとつの舞台で響き合いました。その多彩さこそがこの音楽祭の魅力であり、一人ひとりの表現の違いが、「想響」というテーマのもとで一つの大きな“音の流れ”へと織り上げられていったように感じています。各団体が重ねてきた日々の練習には、それぞれの想いがあります。初めてステージに立つ1年生の緊張と期待、忙しい学業の合間を縫って練習を続けたメンバーの努力、そして卒業を間近に控えた6年生たちが「最後の音楽祭」として迎える特別な想い。そのどれもが、一つひとつの音に込められていました。そして、「想響」という共通のスローガンを掲げたことで、普段は接点の少ない演奏者同士が、互いの活動に耳を傾け、音楽を通じて自然と心を通わせるようになりました。個々の団体の舞台という枠を越え、「今年の音楽祭をみんなで成功させよう」という一体感が生まれ、それが全体の空気を大きく変えたように感じています。

年に一度、異なる音楽が出会い、それぞれの想いが織りなしかって生まれる一夜限りの舞台。その響きが、来場された皆様の心にも残るものであったなら、これに勝る喜びはありません。

最後になりましたが、この音楽祭の開催にあたり、惜しみないご支援とご協力を賜りました地域の皆様、大学関係者の皆様、そしてすべての関係者の皆様に、あらためて心より感謝申し上げます。

これからも、音楽を通じて地域と学生とを結びつける懸け橋として、たくさんの方々にご来場いただき、楽しんでいただける音楽祭を作り上げていきたいと思っております。

第22回 宮崎大学医学部
音楽祭
2025.6.21(土)
開場 16:30- 開演 17:00-
会場 宮崎市民文化ホール
入場料無料
管打楽器部、室内学部、すずかけ太鼓、
合唱部、アカベラ、軽音楽部、他
お問い合わせ miyadaiougakusai@gmail.com (音楽祭実行委員会)
mio.yokoyama@med.miyazaki-u.ac.jp (音楽祭実行委員長)
最新情報、詳細はTwitter, Instagramよりご確認ください
@musicfes_r5_mmu

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和7年病院の緊急経営調査」ご協力のお願い ・健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱いに関する疑義解釈資料の送付について ・7月のマイナ保険証利用促進周知のお願い（10月の医療DX推進体制整備加算見直しを踏まえ） ・医療費助成のオンライン資格確認に係る医療機関・薬局向けシステム改修補助金の令和7年度の申請受付の開始について ・かかりつけ医機能の確保に関するガイドラインについて ・令和7年度厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」における在宅医療の体制整備に関する相談窓口の設置及び伴走支援の実施について ・労働安全衛生法に基づく化学物質管理の無料相談窓口のご案内 ・SDS電子化補助金事業の案内について ・衛生検査所（検体検査会社、臨床検査センター）からの集荷料等の請求にかかる調査について（依頼） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」報告書および転院搬送における救急車の適正利用の推進について ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第81回報告書の公表について ・ヒアりに刺された場合の医療的留意事項について（再周知） ・「「医薬品等輸入確認要領」の改正について」及び「医薬品等輸入手続質疑応答集（Q&A）について」 ・「出産育児一時金等の支給申請及び支払方法について」の一部改正について ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・ゼオマイン筋注用50単位、同筋注用100単位及び同筋注用200単位、アムヴトラ皮下注25mgシリンジ、リンヴォック錠7.5mg及び同錠15mg、ヤーボイ点滴静注液20mg及び同点滴静注液50mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・令和7年度業務継続計画（BCP）策定研修に係る受講者の募集について（通知） ・令和7年度結核予防技術者地区別講習会の開催について ・学校等欠席者・感染症情報システムオンライン研修会開催要項の送付について（送付）
7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・電子処方箋の用法マスタの改訂について ・歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラム（例）令和7年度版について ・「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」等の一部改正について ・「「介護サービス情報の公表」制度の施行について」一部改正について

送付日	文 書 名
7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について ・トカラ列島近海を震源とする地震の被災者に関する既往歴等の提供について ・トカラ列島近海を震源とする地震による災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和7年7月3日に発生したトカラ列島近海を震源とする地震により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年7月3日に発生したトカラ列島近海を震源とする地震に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者が受けたはり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る医師の同意書等の取扱いについて（その5） ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その16）
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和7年診療所の緊急経営調査」ご回答の御礼ならびに再度のご協力お願い ・検案する医師等のさらなる確保に向けた取り組みについて（日本医師会死体検案研修会（上級）の修了者情報の共有について） ・令和7年度生産性向上・職場環境整備等支援事業に関するQ&A（第4版）について ・日本医師会サイバーセキュリティ支援制度「医療情報システムの契約における当事者間の役割分担等に関する確認表」に関する解説動画について（周知） ・新型インフルエンザ等対策政府行動計画に基づく個人防護具の備蓄に関する協定締結医療機関以外の医療機関への周知について（依頼） ・地域医療支援病院による医療機関等情報支援システムを活用した業務報告の実施について ・令和7年度医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査等の実施について（通知） ・侵襲性細菌感染症に係る研究について ・救急の日ポスター及びCABDカードの送付について ・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正について ・電子処方箋の用法マスタの改訂について ・「令和7年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施」及び「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正」等について ・ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（肝細胞癌）について（通知） ・「World Diabetes Day（WDD）」イベント実施について ・第22回九州地区健康教育研究大会（佐賀大会）の申込期間延長について ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項の送付について ・医療機関・薬局の窓口を訪れる患者に対する資格確認方法等に関するセミナー開催について（周知依頼） ・令和7年7月3日に発生したトカラ列島近海を震源とする地震に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・トカラ列島近海を震源とする地震にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について

送付日	文 書 名
7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について（再周知） ・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の相談支援体制及び医療提供体制の更なる連携について ・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の相談支援体制及び医療提供体制の更なる連携について（周知） ・予防接種法に基づく健康被害救済制度に関して留意いただきたい事項について ・予防接種後健康状況調査の実施について ・電子処方箋の利用状況に関するアンケート回答について（協力依頼） ・オンライン資格確認等システムにおけるスマートフォン対応に関する掲示用素材について ・医療事故の再発防止に向けた警鐘レポートNo.3の公表について ・「医薬品副作用被害救済制度」における書類作成への協力依頼等について（再周知） ・企業等における公正な採用選考の実現に向けて（要請） ・介護職員等処遇改善加算等に関する様式例の一部差替について ・福祉用具のサービス提供におけるPDCAの適切な実施等について（情報提供） ・第33回薬物乱用防止教育研修会及び第34回アルコール健康教育研修会について ・令和7年7月3日に発生したトカラ列島近海を震源とする地震に伴う被災者の定期検査等の取扱いについて
7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発について ・第56回全国学校保健・学校医大会について（ご案内） ・警察庁犯罪被害者・支援者のためのポータルサイト「ギゅっとCH（チャンネル）」の新設について（情報提供） ・「がん予防」のウェブページ新設及び「がん予防」にかかるリーフレットの公表について（周知） ・令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その17） ・「World Diabetes Day（WDD）」（旧称：世界糖尿病デー）イベント実施について ・「第14回健康寿命をのばそう！アワード（生活習慣病予防分野）」の募集について ・医療法施行細則の一部を改正する規則の施行について（通知）
7月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度食生活改善普及運動の実施について ・黄熱予防接種巡回診療の開始について ・令和7年度特定行為研修制度研修会について（依頼） ・後期高齢者医療資格確認書発送に係る広報用ポスターについて（依頼） ・令和7年度厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」における「在宅医療提供機関におけるBCP（事業継続計画）策定支援研修」及び「連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル地域事業」の実施について ・「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の変更並びに「南海トラフ地震防災対策地域及び南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」の指定について

送付日	文 書 名
7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障がい者（児）医療費公費負担事業の助成対象（精神障がい者）拡大について（依頼） ・ 令和7年度地域支援事業実施要綱等の改正点について ・ 医療扶助のオンライン資格確認の導入に係るポップアップアンケート（8月版）の実施について（協力依頼） ・ 令和7年台風第8号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【再周知】健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱いに関する疑義解釈資料の送付について ・ 令和7年度介護事業実態調査（介護事業経営概況調査）へのご協力依頼について（再協力依頼） ・ 四種混合ワクチンの販売中止に伴う対応に係る留意事項について ・ 雇用仲介事業の利用にあたっての留意事項の周知協力依頼について ・ 「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方に関するとりまとめ」の公表について ・ 「有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会」における議論の整理について ・ 2025年度がん征圧月間・禁煙ポスターの掲示について（協力のお願い） ・ 「介護職員等の職場環境や処遇に関する実態調査」へのご協力依頼について ・ 介護情報基盤の今後のスケジュール、介護情報基盤活用のための介護事業所等への支援及び介護情報基盤とケアプランデータ連携システムの統合について ・ 予防接種基礎講座の実施について（お知らせ） ・ 5歳児健診の診察に関する研修会の周知について ・ 令和7年度厚生労働省委託事業「重症患者診療体制整備事業（ECMO・人工呼吸器管理研修）」の実施について ・ 令和7年度全国学校保健・安全研究大会の開催について ・ 日本准看護師連絡協議会研修会の周知のお願い ・ 令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波による災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・ 令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その1）～（その2） ・ 令和7年台風第8号に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・ 令和7年台風8号に伴う災害にかかる被災者の定期検査等の取扱いについて ・ 令和7年台風第8号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・ 令和7年台風第8号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・ 令和7年台風第8号による災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



少し前になりますが、育児・介護休業法の改正にともない、社労士からスタッフに説明があり就業規則が修正されました。子の看護休暇が拡大され看護「等」休暇となることや介護のための休暇をとりやすくすることが主な変更点のようです。事業主としては、育児・介護と仕事の両立に寄り添う一方で、少人数で助け合って働く当

院のような環境だと休暇が重なるときに誰かに皺寄せが及ばないように一層の勤務環境の整備が求められると感じました。父の介護をした経験がありますが、医療機関受診やサービス担当者会議など平日昼間にしなくてはならないことが多く、いつもスケジュール調整のことを考えていたような毎日でした。これに父の体調不良が重なると仕事や私自身の体調管理に大きく影響し、周囲の協力や関係各所の柔軟な対応がないとやっていけなかったと思います。当時、介護や治療関係の会議・面談は対面でしかできないとのことでしたが、治療経過説明を担当医がテレビ電話でしていただいたときは仕事を休まずにできて本当に助かりました。介護や医療の現場もオンライン会議などリモートでできるような体制がさらに普及するとよいなと思いました。 (横山)

* * *

皆さん、涙活していますか。「院長は泣くよ」との妻の勧めで、映画「35年目のラブレター」を観ました。読み書きができず、妻に支えてもらって生きてきた男性が、定年退職後、夜間中学校に通い、妻への感謝の手紙を書く話でした。泣きました。大切なものは何か、今の幸せは永遠ではないのです。喧嘩している暇はありません。皆さんもぜひ、観てください。おすすめです。自分が何を感じ、どう変わるかを楽しみにして。 (石田)

* * *

7月25日に義母(妻の母)が83歳で他界しました。元来元気な人で農作業に励み、健康には気を配り、私や孫たちにも優しく接してくれました。今年の正月に孫たちと鶴戸神宮に参拝した時も元気な足取りでしたが、その後体調を崩し元々細身の体がさらに痩せていきました。通院・入院の後自宅療養となり、訪問診療を受けながら最期は妻と孫たちに見守られながら息を引き取りました。今年は実父に続いて2人目の肉親を亡くしました。 (高橋)

* * *

日々の仕事に追われ、疲れているのに自分のケアは後回し。そんな中で始めたのが、九州八十八湯めぐりでした。当直明けでも車を走らせ、講習会のついでに遠回りしてひとつ風呂。最後の方は1日で数湯をハシゴすることもあり、「いや、これ逆に疲れてない?」と思いつつも、ついに八十八湯を完湯し「泉人」に認定されました。特に膝の不調で登山から離れていたこの1年、温泉は私の心身を癒してくれました。湯けむりの中で空を見上げる、たった数分の静かな時間が、何より贅沢で、大切な時間だったと感じています。疲れを感じている皆さん、温泉に行きましょう! (永野)

先日、初めてヤマト運輸の宅急便仕分けアルバイトを経験しました。この仕事は、単発バイトを探せるアプリ「Timee」で見つけたものです。Timeeは、当日や翌日など急に働きたいときにも仕事が見つかるので、とても便利なサービスだと感じました。担当したのはベルトコンベアで流れてくる荷物を送り先ごとのコンテナに積み分けていく作業です。荷物の隙間を上手に埋めながら積んでいくことがゲーム感覚で楽しかったです。これからもスキマ時間を活用して、Timeeでバイトを探していこうと思っています。 (家村)

* * *

肺がんで入退院を繰り返していた祖父が、容態が悪化したとの連絡を受け、急遽、父と2人で姫路へ5日間の親子旅に行ってみりました。祖父は私たちの話を理解している様子で、父の顔を見るなり涙を浮かべて喜んでくれました。声を出すのは苦しそうでしたが、元気なうちに会えて本当によかったと思います。時間はあっという間に過ぎていくので、生きているうちに家族との時間を大切にしたいとあらためて感じました。 (野間)

* * *

以前、先輩医師が「保険料率が10%を超えると革命が起きる」と言っていたのを思い出します。保険料率とは健康保険料が給与に占める割合のことで、後期高齢者医療制度への拠出金増加も一因となって、現在では9%台後半です。そのこともあり、健康保険料、年金、税金などの天引きされる金額は給与の24~29%にも達し、天引地獄という言葉が生まれています。今回の参議院選挙の結果は、現役世代が示した抗議と理解しています。 (佐々木)

今月のトピックス

日州医談 宮崎刑務所視察委員会とは

玉置昇先生より宮崎刑務所視察委員会での活動のお話です。日常では深く関与しない分野でのお話がうかがえるのが、日州医事のよいところです。 4 ページ

宮崎グルメ深訪 tabibitoキッチン

前編集委員長の稲倉琢也先生による、宮崎を飛び出してのジビエのお店です。札幌へ行ってみます。 17ページ

宮崎大学医学部だより 病理学講座－構造機能病態学分野－

病理学講座－構造機能病態学分野－の紹介です。当院でも病理組織検査でお世話になっております。 26ページ

診療メモ アトピー性皮膚炎について

4月に宮崎市大字小松にて“いきめ皮膚科”を開院されました帖佐宣昭先生よりアトピー性皮膚炎の解説です。標準的治療をしっかりと押さえていくことが重要と考えます。 76ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第912号 (令和7年8月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担 当 副 会 長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)